

令和 3 年度  
高崎健康福祉大学大学院  
健康福祉学研究科

講義概要

(博士後期課程)

## 令和3年度 健康福祉学研究科 博士後期課程 シラバス目次

保健福祉学研究 .....	2	違法物質使用障害支援研究 .....	38
Health and Welfare.....	2	Illegal Substance Use Disorders .....	38
高齢社会学研究 .....	5	特殊研究(保健福祉学専攻) .....	41
Research of Aged Society.....	5	Seminar for Doctoral Dissertation on Health and Welfare Sciences.....	41
発達障害研究 .....	8	調理機能学研究 .....	42
Developmental Disorders.....	8	Study on Functional Cookery Science.....	42
保健福祉調査研究 .....	11	食品学研究 .....	45
Research of Health and Welfare Sciences.....	11	Food Chemistry Research.....	45
家族社会学研究 .....	14	応用食品学研究 .....	48
Research of Family Sociology .....	14	Applied food science research .....	48
児童青年心理研究 .....	17	食品安全学研究 .....	51
Child and Adolescent Psychology.....	17	Food Safety Science .....	51
脳科学研究 .....	20	栄養生化学研究 .....	54
Brain Science Research.....	20	Nutrition Biochemistry Research .....	54
医療福祉情報学研究 .....	23	栄養生理学研究 .....	57
Advanced Healthcare Informatics .....	23	Nutritional Physiology Research .....	57
保健福祉情報システム学研究 .....	26	臨床栄養学研究 .....	60
A Study on Evolution of Information Systems for Health and Welfare.....	26	Research of Clinical Nutrition.....	60
高齢者福祉研究 .....	29	スポーツ栄養学研究 .....	63
Social Welfare for the Elderly .....	29	Clinical Sports Nutrition.....	63
子育て発達支援研究 .....	32	保健情報学研究 .....	66
Children Development Support Research.....	32	Health Informatics.....	66
福祉人材育成研究 .....	35	特殊研究(食品栄養学専攻) .....	69
Human Resource Development for a Person Engaged in Social Welfare Service.....	35	Seminar for Doctoral Dissertation on Food and Nutrition Sciences.....	69

科目名	<b>保健福祉学研究</b>		
英文名	<b>Health and Welfare</b>		
担当教員	上原 徹		
時期・単位	保健福祉学専攻博士後期課程 1年 通年 選択 4単位		
講義目標	保健福祉学は、健康の探求とその維持・増進を目的とする諸科学を統合した総合科学である。そこに福祉の視点を加味し、保健医療と福祉・教育・心理・社会経済などの学際融合を目指している。ライフサイクルにおける身体精神社会的な健康増進、家族関係、社会関係を人間発達学的視点に基づき支援するための保健福祉システム、それを支えるマンパワーの確立などがテーマになる。学生が、保健や福祉とは何かを深く考え、地域での実践や各種支援の実情、問題点などについて、十分に論じることができることを目標にする。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.研究方法やデザインについて説明できる</li> <li>2.幅広い保健福祉領域の中で自ら研究課題を探せる</li> <li>3.研究計画を実際にたて、分析し、考察できる</li> <li>4.研究方法論について学部生や修士学生に指導できる</li> <li>5.研究者としての基本的な倫理を有し、要綱を解説できる</li> </ol>		
学位授与方針との対応	✓	健康・医療・福祉に関する先端的研究や情報技術開発研究を自立して行うための豊かな見識と専門的知識・技能を身につけている。 独自の研究計画を立案して、それを実行することにより、研究成果を得る能力を身につけている。 研究の成果を適切に取りまとめ、専門学会で口頭発表するとともに、原著論文を作成して専門学術誌に発表する能力を身につけている。 研究成果を地域社会の保健福祉の改善に生かすための実践的応用能力を身につけている。 保健福祉分野の専門職として高い倫理性と強固な責任感をもって、自らの研究を遂行する能力をもつ。	
評価方法	講義への出席3分の2以上、講義に関する予習・復習の有無ならびに理解度70%、プレゼンテーションやディスカッションの内容20%、授業態度10%を総合して判断。		
課題に対するフィードバック	レポートについては、事前に課題内容を告知し、記載方法や出題意図、基準をフィードバックする。		
使用教材	心理学研究の方法と問題(原岡一馬著)ナカニシヤ出版、よりよい社会調査をめざして(井上文夫他著)創元社、質問紙調査と心理測定尺度(宮本・宇井著)サイエンス社、ほか独自資料を配布する。		
1	講義内容	何のために研究を行うのか	
	該当する到達目標	予習	全体の概要を理解しておくこと 1時間
		復習	ノートを読むこと。 1時間
2	講義内容	研究の種類や社会調査	
	該当する到達目標	予習	講義に関係する資料や論文を読むこと。 1時間
		復習	ノートを読むこと。 1時間
3	講義内容	研究のデザインとバイアス	
	該当する到達目標	予習	講義に関係する資料や論文を読むこと。 1時間
		復習	ノートを読むこと。 1時間
4	講義内容	データ解析の基本と標本調査	
	該当する到達目標	予習	講義に関係する資料や論文を読むこと。 1時間
		復習	ノートを読むこと。 1時間
5	講義内容	変数の種類と標準化	
	該当する到達目標	予習	講義に関係する資料や論文を読むこと。 1時間
		復習	ノートを読むこと。 1時間
6	講義内容	統計解析について	

	該当する到達目標	予習	講義に係る資料や論文を読むこと。	1時間
	1,2,3	復習	ノートを読むこと。	1時間
7	講義内容	保健学と福祉学の共通理論と統合		
	該当する到達目標	予習	講義に係る資料や論文を読むこと。	1時間
	1,2,3	復習	ノートを読むこと。	1時間
8	講義内容	保健福祉学の学問的位置づけ		
	該当する到達目標	予習	講義に係る資料や論文を読むこと。	1時間
	1,2,3	復習	ノートを読むこと。	1時間
9	講義内容	保健及び社会福祉の実践に基づく理論展開		
	該当する到達目標	予習	講義に係る資料や論文を読むこと。	1時間
	1,3,4	復習	ノートを読むこと。	1時間
10	講義内容	保健福祉学のシステム化と連携		
	該当する到達目標	予習	講義に係る資料や論文を読むこと。	1時間
	1,3,4	復習	ノートを読むこと。	1時間
11	講義内容	単変量解析		
	該当する到達目標	予習	講義に係る資料や論文を読むこと。	1時間
	1,2,	復習	ノートを読むこと。	1時間
12	講義内容	多変量解析		
	該当する到達目標	予習	講義に係る資料や論文を読むこと。	1時間
	1,2	復習	ノートを読むこと。	1時間
13	講義内容	分散分析とロジスティック分析		
	該当する到達目標	予習	講義に係る資料や論文を読むこと。	1時間
	1,2	復習	ノートを読むこと。	1時間
14	講義内容	共分散構造分析		
	該当する到達目標	予習	講義に係る資料や論文を読むこと。	1時間
	1,2	復習	ノートを読むこと。	1時間
15	講義内容	前期の到達度確認		
	該当する到達目標	予習	講義に係る資料や論文を読むこと。	1時間
	5	復習	資料や参考書で確認すること	1時間
16	講義内容	質問紙法とインタビュー		
	該当する到達目標	予習	講義に係る資料や論文を読むこと。	1時間
	1,2	復習	資料や参考書で確認すること	1時間
17	講義内容	データ抽出法		
	該当する到達目標	予習	講義に係る資料や論文を読むこと。	1時間
	1,2	復習	資料や参考書で確認すること	1時間
18	講義内容	データ分類		
	該当する到達目標	予習	講義に係る資料や論文を読むこと。	1時間
	1,2	復習	資料や参考書で確認すること	1時間
19	講義内容	回帰と予測		
	該当する到達目標	予習	講義に係る資料や論文を読むこと。	1時間
	1,2	復習	資料や参考書で確認すること	1時間
20	講義内容	ノンパラメトリック		
	該当する到達目標	予習	講義に係る資料や論文を読むこと。	1時間

	1,2	復習	資料や参考書で確認すること	1時間
21	講義内容	因子分析		
	該当する到達目標	予習	講義に関する資料や論文を読むこと。	1時間
	1,2	復習	資料や参考書で確認すること	1時間
22	講義内容	GTA		
	該当する到達目標	予習	講義に関する資料や論文を読むこと。	1時間
	1,2	復習	資料や参考書で確認すること	1時間
23	講義内容	記述的帰納法		
	該当する到達目標	予習	講義に関する資料や論文を読むこと。	1時間
	1,2	復習	資料や参考書で確認すること	1時間
24	講義内容	テキスト内容分析		
	該当する到達目標	予習	講義に関する資料や論文を読むこと。	1時間
	1,2	復習	資料や参考書で確認すること	1時間
25	講義内容	質的統合法		
	該当する到達目標	予習	講義に関する資料や論文を読むこと。	1時間
	1,2	復習	資料や参考書で確認すること	1時間
26	講義内容	保健福祉学の社会的意義		
	該当する到達目標	予習	講義に関する資料や論文を読むこと。	1時間
	1,3,4	復習	資料や参考書で確認すること	1時間
27	講義内容	研究倫理と実践		
	該当する到達目標	予習	講義に関する資料や論文を読むこと。	1時間
	1,3,4	復習	資料や参考書で確認すること	1時間
28	講義内容	課題発表		
	該当する到達目標	予習	講義に関する資料や論文を読むこと。	1時間
	1,3,4	復習	資料や参考書で確認すること	1時間
29	講義内容	総合討論		
	該当する到達目標	予習	講義に関する資料や論文を読むこと。	1時間
	1,5	復習	資料や参考書で確認すること	1時間
30	講義内容	まとめと到達度確認		
	該当する到達目標	予習	講義に関する資料や論文を読むこと。	1時間
	5	復習	資料や参考書で確認すること	1時間
備考	<p>予習・復習については、試験前後の学習で補完すること。自ら、疑問や課題となるテーマを毎回持参すること。研究遂行において、学んだことを実践し、それを振り返り、フィードバックすること。</p> <p>オフィスアワー(上原):前後期ともに、月曜4限、金曜4限とする。</p>			

科目名	<b>高齢社会学研究</b>		
英文名	<b>Research of Aged Society</b>		
担当教員	安達 正嗣		
時期・単位	保健福祉学専攻博士後期課程 1年 通年 選択 4単位		
講義目標	現代社会の高齢者問題の多様な側面に対して、高齢(老年)社会学の視点と方法論を適用できるようになる。		
到達目標	1.高齢社会学研究の基本事項を説明できる 2.高齢社会学研究デザインの重要性を認識できる 3.高齢者会学研究の手法の種類と解析方法を解説できる 4.自身の研究方法に対して、高齢社会学研究の知識や手法の適用を検討できる 5.高齢社会の諸問題に対して、実現可能な研究方法を一人で計画できる		
学位授与方針との対応	✓	健康・医療・福祉に関する先端的研究や情報技術開発研究を自立して行うための豊かな見識と専門的知識・技能を身につけている。	
	✓	独自の研究計画を立案して、それを実行することにより、研究成果を得る能力を身につけている。	
	✓	研究の成果を適切に取りまとめ、専門学会で口頭発表するとともに、原著論文を作成して専門学術誌に発表する能力を身につけている。	
	✓	研究成果を地域社会の保健福祉の改善に生かすための実践的応用能力を身につけている。	
	✓	保健福祉分野の専門職として高い倫理性と強固な責任感をもって、自らの研究を遂行する能力をもつ。	
評価方法	講義に関する予習・復習の有無ならびに理解度 50%、授業への参加態度 20%、プレゼンテーションやディスカッションの内容 30%を総合して判断する。		
課題に対するフィードバック	レポートについては、事前に課題内容を告知し、記載方法や出題意図、基準をフィードバックする。		
使用教材	第1回の時に学生と相談の上、各自の研究テーマなども考慮しながら使用教材を決める。		
1	講義内容	オリエンテーション(内容説明、使用教材の検討、報告順など)	
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や論文・資料を読む。 1時間
	1,2,3,4,5	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる。 1時間
2	講義内容	老化の社会的側面	
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や論文・資料を読む。 1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる。 1時間
3	講義内容	高齢者観の社会的・歴史的変遷	
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や論文・資料を読む。 1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる。 1時間
4	講義内容	老年下位文化とメディア	
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や論文・資料を読む。 1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる。 1時間
5	講義内容	超高齢社会の到来・人口高齢化の背景	
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や論文・資料を読む。 1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる。 1時間
6	講義内容	高齢者扶養規範の変化	
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や論文・資料を読む。 1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる。 1時間
7	講義内容	人口高齢化と社会保障制度・労働力人口の変化	
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や論文・資料を読む。 1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる。 1時間

8	講義内容	老化と健康・疾病		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や論文・資料を読む。	1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる。	1時間
9	講義内容	高齢期の生活機能と健康づくり		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や論文・資料を読む。	1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる。	1時間
10	講義内容	老化学説と老化基準		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や論文・資料を読む。	1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる。	1時間
11	講義内容	高齢者医療		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や論文・資料を読む。	1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる。	1時間
12	講義内容	介護保険と介護度認定		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や論文・資料を読む。	1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる。	1時間
13	講義内容	平均寿命・平均余命・健康寿命		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や論文・資料を読む。	1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる。	1時間
14	講義内容	高齢(老年)社会学の研究動向		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や論文・資料を読む。	1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる。	1時間
15	講義内容	前期のまとめ		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や論文・資料を読む。	1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる。	1時間
16	講義内容	定年退職と社会的引退		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や論文・資料を読む。	1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる。	1時間
17	講義内容	高齢期の経済生活		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や論文・資料を読む。	1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる。	1時間
18	講義内容	プロダクティブ・エイジング		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や論文・資料を読む。	1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる。	1時間
19	講義内容	年金制度		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や論文・資料を読む。	1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる。	1時間
20	講義内容	高齢期のネットワーク		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や論文・資料を読む。	1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる。	1時間
21	講義内容	高齢期の家族・親族関係		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や論文・資料を読む。	1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる。	1時間
22	講義内容	高齢期の地域関係		

	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や論文・資料を読む。	1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる。	1時間
	講義内容	高齢期の友人関係		
23	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や論文・資料を読む。	1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる。	1時間
	講義内容	ひとり暮らし高齢者の急増		
24	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や論文・資料を読む。	1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる。	1時間
	講義内容	家族介護と施設介護		
25	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や論文・資料を読む。	1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる。	1時間
	講義内容	サクセスフル・エイジング		
26	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や論文・資料を読む。	1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる。	1時間
	講義内容	主観的幸福感		
27	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や論文・資料を読む。	1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる。	1時間
	講義内容	多様化するライフスタイル		
28	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や論文・資料を読む。	1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる。	1時間
	講義内容	活動理論・離脱理論・継続性理論		
29	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や論文・資料を読む。	1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる。	1時間
	講義内容	前後期のまとめ		
30	該当する到達目標	予習	全ての講義内容を概観し、各自の研究テーマに引きつけてレポートをまとめる。	3時間
	1,2,3,4,5	復習	講義内容についてまとめ、各自の研究にかかわる課題を考察する。	3時間
備考	<p>オフィスアワーは、前後期共に、火曜日5限・6限である。</p> <p>最終的に単位修得に必要な時間との差異は、各自で補完すること。</p>			

科目名	<b>発達障害研究</b>		
英文名	<b>Developmental Disorders</b>		
担当教員	上原 徹		
時期・単位	保健福祉学専攻博士後期課程 1年 通年 選択 4単位		
講義目標	発達障害者支援法が平成17年に施行され、自閉症をはじめとする広汎性発達障害、学習障害、注意欠如・多動性障害などの神経発達障害を持つ人々に対する援助等について定められた。ここでは、「発達障害者の心理機能の適正な発達及び円滑な社会生活の促進のために発達障害の症状の発現後できるだけ早期に発達支援を行うことが特に重要であることにかんがみ、発達障害を早期に発見し、発達支援を行うことに関する国及び地方公共団体の責務を明らかにするとともに、学校教育における発達障害者への支援、発達障害者の就労の支援、発達障害者支援センターの指定等について定めることにより、発達障害者の自立及び社会参加に資するようその生活全般にわたる支援を図り、もってその福祉の増進に寄与することを目的とする」と記されている。学生が、神経発達障害をめぐる社会福祉の現状や今後の展望を俯瞰するとともに、医療・教育・司法の現場での実態や課題を調査研究し、神経発達障害の支援について考察できるようになる。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.神経発達障害の成因、診断、経過を説明できる</li> <li>2.代表的な自閉スペクトラムとADHDについて解説できる</li> <li>3.発達障害をめぐる社会福祉の現状や今後の展望を考察できる</li> <li>4.医療・教育・司法など現場での実態や課題を考察できる</li> <li>5.発達障害の支援について考察できる</li> </ol>		
学位授与方針との対応	✓	健康・医療・福祉に関する先端的研究や情報技術開発研究を自立して行うための豊かな見識と専門的知識・技能を身につけている。	
		独自の研究計画を立案して、それを実行することにより、研究成果を得る能力を身につけている。	
		研究の成果を適切に取りまとめ、専門学会で口頭発表するとともに、原著論文を作成して専門学術誌に発表する能力を身につけている。	
		研究成果を地域社会の保健福祉の改善に生かすための実践的応用能力を身につけている。	
		保健福祉分野の専門職として高い倫理性と強固な責任感をもって、自らの研究を遂行する能力をもつ。	
評価方法	講義への出席3分の2以上、講義に関する予習・復習の有無ならびに理解度70%、プレゼンテーションやディスカッションの内容20%、授業態度10%を総合して判断。		
課題に対するフィードバック	レポートについては、事前に課題内容を告知し、記載方法や出題意図、基準をフィードバックする。		
使用教材	適宜参考書を推薦する		
1	講義内容	発達総論① 知覚、思考、情動	
	該当する到達目標	予習	全体の概要を理解しておくこと 1時間
	1	復習	資料や参考書で確認すること 1時間
2	講義内容	発達総論② 学習、記憶、運動	
	該当する到達目標	予習	講義に関係する資料や論文を読むこと。 1時間
	1	復習	資料や参考書で確認すること 1時間
3	講義内容	発達総論③ こころの理論	
	該当する到達目標	予習	講義に関係する資料や論文を読むこと。 1時間
	1	復習	資料や参考書で確認すること 1時間
4	講義内容	脳科学総論①解剖と生理機能と局在	
	該当する到達目標	予習	講義に関係する資料や論文を読むこと。 1時間
	1	復習	資料や参考書で確認すること 1時間
5	講義内容	脳科学総論②高次脳機能、社会脳	

1	該当する到達目標	予習	講義に関する資料や論文を読むこと。	1時間
		復習	資料や参考書で確認すること	1時間
6	講義内容	自閉スペクトラム①疫学、診断、行動特性		
	該当する到達目標	予習	講義に関する資料や論文を読むこと。	1時間
1,2		復習	資料や参考書で確認すること	1時間
	講義内容	自閉スペクトラム②社会での実態、2次障害		
7	該当する到達目標	予習	講義に関する資料や論文を読むこと。	1時間
	1,2	復習	資料や参考書で確認すること	1時間
8	講義内容	自閉スペクトラム③支援と治療、最新の脳科学		
	該当する到達目標	予習	講義に関する資料や論文を読むこと。	1時間
1,2		復習	資料や参考書で確認すること	1時間
	講義内容	ADHD①疫学、診断、行動特性		
9	該当する到達目標	予習	講義に関する資料や論文を読むこと。	1時間
	1,2	復習	資料や参考書で確認すること	1時間
10	講義内容	ADHD②社会での実態、2次障害		
	該当する到達目標	予習	講義に関する資料や論文を読むこと。	1時間
1,2		復習	資料や参考書で確認すること	1時間
	講義内容	ADHD③支援と治療、最新の脳科学		
11	該当する到達目標	予習	講義に関する資料や論文を読むこと。	1時間
	1,2	復習	資料や参考書で確認すること	1時間
12	講義内容	特異的学習障害など		
	該当する到達目標	予習	講義に関する資料や論文を読むこと。	1時間
1		復習	資料や参考書で確認すること	1時間
	講義内容	社会的な動向や課題		
13	該当する到達目標	予習	講義に関する資料や論文を読むこと。	1時間
	1,3	復習	資料や参考書で確認すること	1時間
14	講義内容	新しい診断や評価		
	該当する到達目標	予習	講義に関する資料や論文を読むこと。	1時間
1,3		復習	資料や参考書で確認すること	1時間
	講義内容	前期のまとめ		
15	該当する到達目標	予習	講義に関する資料や論文を読むこと。	1時間
	1,2,3,4,5	復習	資料や参考書で確認すること	1時間
16	講義内容	発達障害の歴史		
	該当する到達目標	予習	講義に関する資料や論文を読むこと。	1時間
1,3		復習	資料や参考書で確認すること	1時間
	講義内容	社会福祉施策やシステム		
17	該当する到達目標	予習	講義に関する資料や論文を読むこと。	1時間
	3,4	復習	資料や参考書で確認すること	1時間
18	講義内容	教育現場の実情		
	該当する到達目標	予習	講義に関する資料や論文を読むこと。	1時間
3,4		復習	資料や参考書で確認すること	1時間
	講義内容	矯正司法領域		
19	該当する到達目標	予習	講義に関する資料や論文を読むこと。	1時間

	3,4	復習	資料や参考書で確認すること	1時間
20	講義内容	産業や就業との関係		
	該当する到達目標	予習	講義に関する資料や論文を読むこと。	1時間
	3,4	復習	資料や参考書で確認すること	1時間
21	講義内容	二次障害について		
	該当する到達目標	予習	講義に関する資料や論文を読むこと。	1時間
	1,3	復習	資料や参考書で確認すること	1時間
22	講義内容	心理アセスメント		
	該当する到達目標	予習	講義に関する資料や論文を読むこと。	1時間
	1	復習	資料や参考書で確認すること	1時間
23	講義内容	家族への支援		
	該当する到達目標	予習	講義に関する資料や論文を読むこと。	1時間
	4,5	復習	資料や参考書で確認すること	1時間
24	講義内容	生物学的知見		
	該当する到達目標	予習	講義に関する資料や論文を読むこと。	1時間
	1	復習	資料や参考書で確認すること	1時間
25	講義内容	生物的治療の研究		
	該当する到達目標	予習	講義に関する資料や論文を読むこと。	1時間
	5	復習	資料や参考書で確認すること	1時間
26	講義内容	疫学的研究		
	該当する到達目標	予習	講義に関する資料や論文を読むこと。	1時間
	1	復習	資料や参考書で確認すること	1時間
27	講義内容	心理療育支援の様々		
	該当する到達目標	予習	講義に関する資料や論文を読むこと。	1時間
	4,5	復習	資料や参考書で確認すること	1時間
28	講義内容	ライフサイクルとの関係		
	該当する到達目標	予習	講義に関する資料や論文を読むこと。	1時間
	1	復習	討論の準備をすること	1時間
29	講義内容	総合討論①		
	該当する到達目標	予習	討論に関する資料や論文を読むこと。	1時間
	1,2,3,4,5	復習	プレゼンテーションの準備	1時間
30	講義内容	総合討論②		
	該当する到達目標	予習	討論に関する資料や論文を読むこと。	1時間
	1,2,3,4,5	復習	講義での学習を総括	1時間
備考	予習・復習については、試験前後の学習で補完すること。自ら、疑問や課題となるテーマを毎回持参すること。研究遂行において、学んだことを実践し、それを振り返り、フィードバックすること。 オフィスアワー(上原):前後期ともに、月曜5限、金曜5限とする。			

科目名	<b>保健福祉調査研究</b>		
英文名	<b>Research of Health and Welfare Sciences</b>		
担当教員	安達 正嗣		
時期・単位	保健福祉学専攻博士後期課程 1年 通年 選択 4単位		
講義目標	保健福祉に関する調査研究の知識と方法論を学び、保健福祉分野における調査研究を理解することによって、それを応用できる能力を身につけることができるようになる。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.保健福祉に関する調査研究の基本事項を説明できる。</li> <li>2.保健福祉に関する調査研究の研究デザインの重要性を認識できる。</li> <li>3.保健福祉に関する調査研究の手法の種類と解析方法を解説できる。</li> <li>4.自身の研究方法に対して、保健福祉に関する調査研究の知識や手法の適用を検討できる。</li> <li>5.保健福祉に関する諸問題に対して、実現可能な調査研究方法を一人で計画できる</li> </ol>		
学位授与方針との対応	✓	健康・医療・福祉に関する先端的研究や情報技術開発研究を自立して行うための豊かな見識と専門的知識・技能を身につけている。	
	✓	独自の研究計画を立案して、それを実行することにより、研究成果を得る能力を身につけている。	
	✓	研究の成果を適切に取りまとめ、専門学会で口頭発表するとともに、原著論文を作成して専門学術誌に発表する能力を身につけている。	
	✓	研究成果を地域社会の保健福祉の改善に生かすための実践的応用能力を身につけている。	
	✓	保健福祉分野の専門職として高い倫理性と強固な責任感をもって、自らの研究を遂行する能力をもつ。	
評価方法	講義に関する予習・復習の有無ならびに理解度 50%、授業への参加態度 20%、プレゼンテーションやディスカッションの内容 30%等を総合して判断する。		
課題に対するフィードバック	レポートについては、事前に課題内容を告知し、記載方法や出題意図、基準をフィードバックする。		
使用教材	第1回の時に学生と相談の上、各自の研究テーマなども考慮しながら使用教材を決める。		
1	講義内容	オリエンテーション(内容説明、使用教材の検討、報告順など)	
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や論文・資料を読む。 1時間
	1,2,3,4,5	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる。 1時間
2	講義内容	社会調査の論理	
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や論文・資料を読む。 1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる。 1時間
3	講義内容	情報資源の発掘調査	
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や論文・資料を読む。 1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる。 1時間
4	講義内容	社会調査の基本ルール	
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や論文・資料を読む。 1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる。 1時間
5	講義内容	概念と変数	
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や論文・資料を読む。 1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる。 1時間
6	講義内容	仮説の設定	
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や論文・資料を読む。 1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる。 1時間
7	講義内容	調査票調査の方法	
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や論文・資料を読む。 1時間

	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる。	1 時間
8	講義内容	調査の企画・設計		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や論文・資料を読む。	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる。	1 時間
9	講義内容	調査票作成のプロセス		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や論文・資料を読む。	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる。	1 時間
10	講義内容	質問文の作成法		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や論文・資料を読む。	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる。	1 時間
11	講義内容	選択肢の選定と調査票デザイン		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や論文・資料を読む。	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる。	1 時間
12	講義内容	サンプリングという発想		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や論文・資料を読む。	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる。	1 時間
13	講義内容	サンプリングの原理		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や論文・資料を読む。	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる。	1 時間
14	講義内容	サンプリングの実際		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や論文・資料を読む。	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる。	1 時間
15	講義内容	前期のまとめ		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や論文・資料を読む。	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる。	1 時間
16	講義内容	調査票調査のプロセス		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や論文・資料を読む。	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる。	1 時間
17	講義内容	データ化作業		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や論文・資料を読む。	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる。	1 時間
18	講義内容	データ分析の基本		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や論文・資料を読む。	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる。	1 時間
19	講義内容	統計的検定		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や論文・資料を読む。	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる。	1 時間
20	講義内容	回帰分析		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や論文・資料を読む。	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる。	1 時間
21	講義内容	報告書の作成法		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や論文・資料を読む。	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる。	1 時間

	講義内容	質的調査の方法		
22	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や論文・資料を読む。	1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる。	1時間
	講義内容	面接調査法		
23	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や論文・資料を読む。	1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる。	1時間
	講義内容	参与観察法		
24	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や論文・資料を読む。	1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる。	1時間
	講義内容	ドキュメント分析法		
25	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や論文・資料を読む。	1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる。	1時間
	講義内容	写真観察法		
26	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や論文・資料を読む。	1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる。	1時間
	講義内容	非参与観察		
27	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や論文・資料を読む。	1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる。	1時間
	講義内容	アクションリサーチ		
28	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や論文・資料を読む。	1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる。	1時間
	講義内容	質的調査法による研究のまとめ方		
29	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や論文・資料を読む。	1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる。	1時間
	講義内容	前後期のまとめ		
30	該当する到達目標	予習	全ての講義内容を概観し、各自の研究テーマに引きつけてレポートをまとめる。	3時間
	1,2,3,4,5	復習	講義内容についてまとめ、各自の研究にかかわる課題を考察する。	3時間
備考	オフィスアワーは、前後期共に、火曜日5限・6限である。 最終的に単位修得に必要な時間との差異は、各自で補完すること。			

科目名	<b>家族社会学研究</b>		
英文名	<b>Research of Family Sociology</b>		
担当教員	安達 正嗣		
時期・単位	保健福祉学専攻博士後期課程 1年 通年 選択 4単位		
講義目標	現代社会の家族問題の多様な側面に対して、家族社会学のアプローチと方法論を適用できるようになる。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 家族社会学研究の基本事項を説明できる</li> <li>2. 家族社会学研究デザインの重要性を認識できる</li> <li>3. 家族社会学研究の手法の種類と解析方法を解説できる</li> <li>4. 自身の研究方法に対して、家族社会学研究の知識や手法の適用を検討できる</li> <li>5. 現代社会の家族の諸問題に対して、実現可能な研究方法を一人で計画できる</li> </ol>		
学位授与方針との対応	✓	健康・医療・福祉に関する先端的研究や情報技術開発研究を自立して行うための豊かな見識と専門的知識・技能を身につけている。	
	✓	独自の研究計画を立案して、それを実行することにより、研究成果を得る能力を身につけている。	
	✓	研究の成果を適切に取りまとめ、専門学会で口頭発表するとともに、原著論文を作成して専門学術誌に発表する能力を身につけている。	
	✓	研究成果を地域社会の保健福祉の改善に生かすための実践的応用能力を身につけている。	
	✓	保健福祉分野の専門職として高い倫理性と強固な責任感をもって、自らの研究を遂行する能力をもつ。	
評価方法	講義に関する予習・復習の有無ならびに理解度 50%、授業への参加態度 20%、プレゼンテーションやディスカッションの内容 30%を総合して判断する。		
課題に対するフィードバック	レポートについては、事前に課題内容を告知し、記載方法や出題意図、基準をフィードバックする。		
使用教材	第1回の時に学生と相談の上、各自の研究テーマなども考慮しながら使用教材を決める。		
1	講義内容	オリエンテーション(内容説明、使用教材の検討、報告順など)	
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や論文・資料を読む。 1時間
	1,2,3,4,5	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる。 1時間
2	講義内容	家族社会学の視点と方法論について(日本家族社会学会の概要説明を含む)	
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や論文・資料を読む。 1時間
	1,2,3,4,5	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる。 1時間
3	講義内容	比較制度論的アプローチ	
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や論文・資料を読む。 1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる。 1時間
4	講義内容	形態的アプローチ	
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や論文・資料を読む。 1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる。 1時間
5	講義内容	歴史社会的アプローチ	
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や論文・資料を読む。 1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる。 1時間
6	講義内容	人口学的アプローチ	
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や論文・資料を読む。 1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる。 1時間
7	講義内容	ジェンダー論的アプローチ	
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や論文・資料を読む。 1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる。 1時間

8	講義内容	エスノメソロジー的アプローチ		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や論文・資料を読む。	1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる。	1時間
9	講義内容	構造機能論的アプローチ		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や論文・資料を読む。	1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる。	1時間
10	講義内容	システム論的アプローチ		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や論文・資料を読む。	1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる。	1時間
11	講義内容	家族周期論的アプローチ		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や論文・資料を読む。	1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる。	1時間
12	講義内容	家族病理学的アプローチ		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や論文・資料を読む。	1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる。	1時間
13	講義内容	家族ストレス論的アプローチ		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や論文・資料を読む。	1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる。	1時間
14	講義内容	相互作用論的アプローチ		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や論文・資料を読む。	1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる。	1時間
15	講義内容	前期のまとめ		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や論文・資料を読む。	1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる。	1時間
16	講義内容	交換論的アプローチ		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や論文・資料を読む。	1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる。	1時間
17	講義内容	ネットワーク論的アプローチ		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や論文・資料を読む。	1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる。	1時間
18	講義内容	家族ライフスタイル論的アプローチ		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や論文・資料を読む。	1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる。	1時間
19	講義内容	ライフコース論的アプローチ		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や論文・資料を読む。	1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる。	1時間
20	講義内容	構築論的アプローチ		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や論文・資料を読む。	1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる。	1時間
21	講義内容	計量論的アプローチ		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や論文・資料を読む。	1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる。	1時間
22	講義内容	事例研究的アプローチ		

	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や論文・資料を読む。	1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる。	1時間
	講義内容	受講生が選択したアプローチの論文解題		
23	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や論文・資料を読む。	1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる。	1時間
	講義内容	受講生が選択したアプローチの論文解題		
24	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や論文・資料を読む。	1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる。	1時間
	講義内容	受講生が選択したアプローチの論文解題		
25	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や論文・資料を読む。	1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる。	1時間
	講義内容	受講生が選択したアプローチの論文解題		
26	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や論文・資料を読む。	1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる。	1時間
	講義内容	受講生が選択したアプローチの論文解題		
27	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や論文・資料を読む。	1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる。	1時間
	講義内容	受講生が選択したアプローチの論文解題		
28	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や論文・資料を読む。	1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる。	1時間
	講義内容	受講生が選択したアプローチの論文解題		
29	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や論文・資料を読む。	1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる。	1時間
	講義内容	前後期のまとめ		
30	該当する到達目標	予習	全ての講義内容を概観し、各自の研究テーマに引きつけてレポートをまとめる。	3時間
	1,2,3,4,5	復習	講義内容についてまとめ、各自の研究にかかわる課題を考察する。	3時間
備考	オフィスアワーは、前後期共に、火曜日5限・6限である。 最終的に単位修得に必要な時間との差異は、各自で補完すること。			

科目名	<b>児童青年心理研究</b>		
英文名	<b>Child and Adolescent Psychology</b>		
担当教員	上原 徹		
時期・単位	保健福祉学専攻博士後期課程 1年 通年 選択 4単位		
講義目標	人は誕生してから、さまざまな過程を経て、大人になり、そして老いていく。人類の歴史も、個人の歴史も、極めて相似している。人類はまだ、幼児期にあるという識者の意見がある。未熟な段階にある我々が、人類として成熟していくためにも、個体の発達について学ぶことには大きな意味がある。学生が、これまで培われた発達心理学の知見を学び、極めてダイナミックな時期である「児童青年期」の心理について考察できる。		
到達目標	1.乳幼児期から児童青年期に至る、心理発達の基本を説明できる 2.心理発達特有の代表的理論と、その応用事項を解説できる 3.心理発達に関連する心理社会問題について、考察できる 4.小児思春期の心理発達をめぐる疾病概念を説明できる 5.発達心理学的視点を研究に応用できる		
学位授与方針との対応	✓	健康・医療・福祉に関する先端的研究や情報技術開発研究を自立して行うための豊かな見識と専門的知識・技能を身につけている。	
		独自の研究計画を立案して、それを実行することにより、研究成果を得る能力を身につけている。	
		研究の成果を適切に取りまとめ、専門学会で口頭発表するとともに、原著論文を作成して専門学術誌に発表する能力を身につけている。	
	✓	研究成果を地域社会の保健福祉の改善に生かすための実践的応用能力を身につけている。	
		保健福祉分野の専門職として高い倫理性と強固な責任感をもって、自らの研究を遂行する能力をもつ。	
評価方法	講義への出席 3分の2以上、講義に関する予習・復習の有無ならびに理解度 70%、プレゼンテーションやディスカッションの内容 20%、授業態度 10%を総合して判断。		
課題に対するフィードバック	レポートについては、事前に課題内容を告知し、記載方法や出題意図、基準をフィードバックする。		
使用教材	適宜参考書を推薦。(児童と青年の発達心理学、橘川、随想社；子どもの認知発達、ゴスワミ、新曜社など)		
1	講義内容	発達心理学総論①運動や知覚	
	該当する到達目標	予習	全体の概要を理解しておくこと 0.5時間
	1,2	復習	資料や参考書で確認すること 1時間
2	講義内容	②記憶や社会性	
	該当する到達目標	予習	講義に関係する資料や論文を読むこと。 1時間
	1,2	復習	資料や参考書で確認すること 1時間
3	講義内容	発達の理論①エリクソンとピアジェ	
	該当する到達目標	予習	講義に関係する資料や論文を読むこと。 1時間
	1,2	復習	資料や参考書で確認すること 1時間
4	講義内容	②バンチュエラとフロイト	
	該当する到達目標	予習	講義に関係する資料や論文を読むこと。 1時間
	1,2	復習	資料や参考書で確認すること 1時間
5	講義内容	胎児期から新生児期	
	該当する到達目標	予習	講義に関係する資料や論文を読むこと。 1時間
	1,2	復習	資料や参考書で確認すること 1時間
6	講義内容	乳児期から幼児期	
	該当する到達目標	予習	講義に関係する資料や論文を読むこと。 1時間
	1,2	復習	資料や参考書で確認すること 1時間

	講義内容	学童期		
7	該当する到達目標	予習	講義に関する資料や論文を読むこと。	1時間
	1,2	復習	資料や参考書で確認すること	1時間
	講義内容	青年期からヤングアダルトへ		
8	該当する到達目標	予習	講義に関する資料や論文を読むこと。	1時間
	1,2	復習	資料や参考書で確認すること	1時間
	講義内容	思春期の特徴		
9	該当する到達目標	予習	講義に関する資料や論文を読むこと。	1時間
	1,2	復習	資料や参考書で確認すること	1時間
	講義内容	社会とのかかわりや課題		
10	該当する到達目標	予習	講義に関する資料や論文を読むこと。	1時間
	1,3	復習	資料や参考書で確認すること	1時間
	講義内容	発達問題と心理療法		
11	該当する到達目標	予習	講義に関する資料や論文を読むこと。	1時間
	1,3	復習	資料や参考書で確認すること	1時間
	講義内容	児童青年精神医学		
12	該当する到達目標	予習	講義に関する資料や論文を読むこと。	1時間
	1,4	復習	資料や参考書で確認すること	1時間
	講義内容	虐待や社会的養護		
13	該当する到達目標	予習	講義に関する資料や論文を読むこと。	1時間
	1,4	復習	資料や参考書で確認すること	1時間
	講義内容	母子関係や家族力動		
14	該当する到達目標	予習	講義に関する資料や論文を読むこと。	1時間
	1,3	復習	資料や参考書で確認すること	1時間
	講義内容	前期のまとめ		
15	該当する到達目標	予習	講義に関する資料や論文を読むこと。	1時間
	1,4	復習	資料や参考書で確認すること	1時間
	講義内容	乳幼児の認知発達		
16	該当する到達目標	予習	講義に関する資料や論文を読むこと。	1時間
	1	復習	資料や参考書で確認すること	1時間
	講義内容	概念や因果推論の発達		
17	該当する到達目標	予習	講義に関する資料や論文を読むこと。	1時間
	1,2	復習	資料や参考書で確認すること	1時間
	講義内容	メタ記憶		
18	該当する到達目標	予習	講義に関する資料や論文を読むこと。	1時間
	1	復習	資料や参考書で確認すること	1時間
	講義内容	子どもの論理的推論		
19	該当する到達目標	予習	講義に関する資料や論文を読むこと。	1時間
	1,2	復習	資料や参考書で確認すること	1時間
	講義内容	こころの理論		
20	該当する到達目標	予習	講義に関する資料や論文を読むこと。	1時間
	1,2	復習	資料や参考書で確認すること	1時間
21	講義内容	メンタライジング		

	該当する到達目標	予習	講義に関する資料や論文を読むこと。	1時間
	1,4	復習	資料や参考書で確認すること	1時間
22	講義内容	マインドフルネス		
	該当する到達目標	予習	講義に関する資料や論文を読むこと。	1時間
	1,4	復習	資料や参考書で確認すること	1時間
23	講義内容	最近の脳神経科学の知見		
	該当する到達目標	予習	講義に関する資料や論文を読むこと。	1時間
	1	復習	資料や参考書で確認すること	1時間
24	講義内容	アセスメント論①		
	該当する到達目標	予習	講義に関する資料や論文を読むこと。	1時間
	1,4	復習	資料や参考書で確認すること	1時間
25	講義内容	アセスメント論②		
	該当する到達目標	予習	講義に関する資料や論文を読むこと。	1時間
	1,4	復習	資料や参考書で確認すること	1時間
26	講義内容	心理的アプローチ		
	該当する到達目標	予習	講義に関する資料や論文を読むこと。	1時間
	1,4	復習	資料や参考書で確認すること	1時間
27	講義内容	スピリチュアルな視点		
	該当する到達目標	予習	講義に関する資料や論文を読むこと。	1時間
	1,5	復習	資料や参考書で確認すること	1時間
28	講義内容	ライフサイクル論		
	該当する到達目標	予習	講義に関する資料や論文を読むこと。	1時間
	1	復習	討論の準備をすること	1時間
29	講義内容	総合討論①		
	該当する到達目標	予習	討論に関する資料や論文を読むこと。	1時間
	1,4,5	復習	プレゼンテーションの準備	1時間
30	講義内容	総合討論②		
	該当する到達目標	予習	討論に関する資料や論文を読むこと。	1時間
	1,4,5	復習	講義での学習を総括	1時間
備考	<p>自ら、疑問や課題となるテーマを毎回持参すること。研究遂行において、学んだことを実践し、それを振り返り、フィードバックすること。最終的に単位修得に必要な時間との差異は、各自で補完すること。</p> <p>オフィスアワー(上原):前後期ともに、月曜5限、金曜5限とする。</p>			

科目名	<b>脳科学研究</b>		
英文名	<b>Brain Science Research</b>		
担当教員	小澤 静司		
時期・単位	保健福祉学専攻博士後期課程 1年 通年 選択 4単位		
講義目標	脳の機能と病態の研究では、分子→細胞(ニューロン)→神経回路→脳全体の統合的機能・行動という階層性に基づくアプローチが必要である。本科目では、脳の機能とその破綻としての精神・神経疾患の病態を現代の神経科学が上記のアプローチによりどこまで明らかにしつつあるのかを理解することを目標とする。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 脳の機能を、分子→細胞(ニューロン)→神経回路→脳全体の統合的機能・行動というマイクロからマクロにわたる階層性に基づき理解する。</li> <li>2. 脳の正常機能の破綻としての精神・神経疾患の病態を現代の神経科学がどこまで明らかにしつつあるのかを理解する。</li> <li>3. 先端的研究の核心にアプローチし、学習の成果を適切に取りまとめて発表する能力をもつ。</li> </ol>		
学位授与方針との対応	✓	健康・医療・福祉に関する先端的研究や情報技術開発研究を自立して行うための豊かな見識と専門的知識・技能を身につけている。	
	✓	独自の研究計画を立案して、それを実行することにより、研究成果を得る能力を身につけている。	
	✓	研究の成果を適切に取りまとめ、専門学会で口頭発表するとともに、原著論文を作成して専門学術誌に発表する能力を身につけている。	
		研究成果を地域社会の保健福祉の改善に生かすための実践的応用能力を身につけている。	
		保健福祉分野の専門職として高い倫理性と強固な責任感をもって、自らの研究を遂行する能力をもつ。	
評価方法	講義 10-28 回目のいずれかの講義内容に関連する事項をテーマとして、最新の知見を調査して口頭発表を行うことを課する。その発表の質を評価して可否を決定する。		
課題に対するフィードバック	調査課題の発表を講評するとともに、そのレベルを採点する。		
使用教材	テキスト: 神経科学 —脳の探求— Bear MF et al.(加藤宏司他訳) 西村書店 2007		
1	講義内容	神経科学の基礎(1)脳のマクロ解剖学	
	該当する到達目標	予習	テキストの関連部位を精読する。 2時間
	1	復習	神経系のマクロの構造を理解する。 1.5時間
2	講義内容	神経科学の基礎(2)神経系の細胞構築	
	該当する到達目標	予習	テキストの関連部位を精読する。 2時間
	1	復習	神経系の細胞構築、特にニューロンとグリアの特性を理解する。 1.5時間
3	講義内容	神経科学の基礎(3)神経細胞の興奮性、イオンチャネル	
	該当する到達目標	予習	テキストの関連部位を精読する。 2時間
	1	復習	イオンチャネルに関する知識に基づき、活動電位の発生機序を理解する。 1.5時間
4	講義内容	神経科学の基礎(4)シナプス伝達	
	該当する到達目標	予習	テキストの関連部位を精読する。 2時間
	1	復習	シナプス伝達機序を理解する。 1.5時間
5	講義内容	神経伝達物質と受容体(1)興奮性アミノ酸	
	該当する到達目標	予習	テキストの関連部位を精読する。 2時間
	1	復習	興奮性シナプス伝達を担う伝達物質とそれらの受容体について理解する。 1.5時間
6	講義内容	神経伝達物質と受容体(2)GABA とグリシン	
	該当する到達目標	予習	テキストの関連部位を精読する。 2時間
	1	復習	抑制性シナプス伝達を担う伝達物質とそれらの受容体について理解する。 1.5時間
7	講義内容	神経伝達物質と受容体(3)アセチルコリン	

	該当する到達目標	予習	テキストの関連部位を精読する。	2時間
	1	復習	アセチルコリンとその受容体の役割について理解する。	1.5時間
8	講義内容	神経伝達物質と受容体(4)ドーパミン、ノルアドレナリン、セロトニン		
	該当する到達目標	予習	テキストの関連部位を精読する。	2時間
	1	復習	モノアミンとそれらの受容体の役割を理解する。	1.5時間
9	講義内容	神経伝達物質と受容体(5)神経ペプチド、プリン体(ATP、アデノシン)		
	該当する到達目標	予習	テキストの関連部位を精読する。	2時間
	1	復習	神経ペプチド、プリン体とそれらの受容体の役割を理解する。	1.5時間
10	講義内容	感覚系(1)化学感覚		
	該当する到達目標	予習	テキストの関連部位を精読する。	2時間
	1	復習	嗅覚、味覚の神経メカニズムを理解する。	1.5時間
11	講義内容	感覚系(2)視覚、聴覚、平衡感覚		
	該当する到達目標	予習	テキストの関連部位を精読する。	2時間
	1	復習	視覚、聴覚、平衡感覚の神経メカニズムを理解する。	1.5時間
12	講義内容	感覚系(3)体性感覚、特に痛覚		
	該当する到達目標	予習	テキストの関連部位を精読する。	2時間
	1,2,3	復習	体性感覚、特に痛覚の神経メカニズムを理解する。	1.5時間
13	講義内容	感覚系(4)神経障害性疼痛		
	該当する到達目標	予習	配布した資料、および紹介する文献を精読する。	4時間
	1,2,3	復習	神経障害性疼痛の発生メカニズム、治療法について理解する。	1.5時間
14	講義内容	運動制御(1)脊髄による運動制御とその異常		
	該当する到達目標	予習	テキストの関連部位を精読する。	2時間
	1,2	復習	運動制御における脊髄の役割とその障害による疾患を理解する。	1.5時間
15	講義内容	運動制御(2)大脳による運動制御とその異常		
	該当する到達目標	予習	テキストの関連部位を精読する。	2時間
	1,2	復習	運動制御における大脳皮質、大脳基底核の役割とそれらの障害による疾患を理解する。	1.5時間
16	講義内容	運動制御(3)小脳による運動制御とその異常		
	該当する到達目標	予習	テキストの関連部位を精読する。	2時間
	1,2	復習	運動制御における小脳の役割とその障害による疾患を理解する。	1.5時間
17	講義内容	脳と行動の化学的制御		
	該当する到達目標	予習	テキストの関連部位を精読する。	2時間
	1,2	復習	脳に作用する主な薬物とそれらのもたらす影響、作用メカニズムの概要を理解する。	1.5時間
18	講義内容	情動(1)大脳辺縁系の概念		
	該当する到達目標	予習	配布した資料、および紹介する文献を精読する。	2時間
	1,2	復習	大脳辺縁系研究の歴史とその中で生まれた概念を理解する。	1.5時間
19	講義内容	情動(2)扁桃体と関連神経回路		
	該当する到達目標	予習	テキストの関連部位を精読する。	2時間
	1,2	復習	情動の体験と表出における扁桃体と関連神経回路の役割を理解する。	1.5時間
20	講義内容	記憶(1)記憶と健忘症の種類		
	該当する到達目標	予習	テキストの関連部位を精読する。	2時間
	1,2	復習	記憶と健忘症の種類を理解する。	1.5時間

21	講義内容	記憶(2)側頭葉と陳述記憶		
	該当する到達目標	予習	テキストの関連部位を精読する。	2時間
	1,2	復習	陳述記憶の形成における内側側頭葉と海馬の役割を理解する。	1.5時間
22	講義内容	記憶(3)線条体と手続き記憶		
	該当する到達目標	予習	テキストの関連部位を精読する。	2時間
	1,2	復習	手続き記憶形成における線条体の役割を理解する。	1.5時間
23	講義内容	記憶(4)大脳皮質と作業記憶		
	該当する到達目標	予習	配布した資料、および紹介する文献を精読する。	2時間
	1,2	復習	作業記憶の概念とそれを担う脳部位の役割を理解する。	1.5時間
24	講義内容	脳のリズムと睡眠		
	該当する到達目標	予習	テキストの関連部位を精読する。	2時間
	1,2	復習	脳のもつ日内リズム、睡眠の脳内メカニズムを理解する。	1.5時間
25	講義内容	言語(1)言語野		
	該当する到達目標	予習	テキストの関連部位を精読する。	2時間
	1	復習	言語野の機能別分類とそれらの局在を理解する。	1.5時間
26	講義内容	言語(2)失語症のタイプと原因		
	該当する到達目標	予習	テキストの関連部位を精読する。	2時間
	1,2	復習	多様な失語症のタイプとそれらに対応する脳部位を理解する。	1.5時間
27	講義内容	非侵襲的脳機能計測法		
	該当する到達目標	予習	配布した資料、および紹介する文献を精読する。	2時間
	1	復習	機能的磁気共鳴画像法(fMRI)の原理と応用範囲を理解する。	1.5時間
28	講義内容	近赤外線分光鏡法による脳機能研究の紹介		
	該当する到達目標	予習	配布した資料、および紹介する文献を精読する。	2時間
	1,2,3	復習	近赤外線分光鏡法の原理と応用範囲を理解する。	1.5時間
29	講義内容	調査課題の発表と講評		
	該当する到達目標	予習	今年度の調査・発表課題は、「神経障害性疼痛の発生メカニズムと治療」とするの で、これについて学んだことを整理するとともに、最新の知見を調べて発表する。	10時間
	1,2,3	復習	神経障害性疼痛に関する最新の知見を的確に説明できるようにする。	1時間
30	講義内容	まとめ、展望		
	該当する到達目標	予習	使用したテキスト、これまでの配布プリントに目を通す。	1時間
	1,2,3	復習	本講義で学んだこと、および今後学ぶべきことを整理する。	1時間
備考	<p>各授業の終了時に、次回の講義内容に関連する重要事項を提示し、必要に応じて資料提供、および事前に読むべき論文を指示するので、それらに従って十分な準備をして授業に臨むこと。</p> <p>オフィスアワー:火曜日の3時限と4時限</p> <p>メールアドレス「sozawa#takasaki-u.ac.jp」</p> <p>研究室:1号館6階606</p>			

科目名	<b>医療福祉情報学研究</b>		
英文名	<b>Advanced Healthcare Informatics</b>		
担当教員	松尾 仁司		
時期・単位	保健福祉学専攻博士後期課程 1年 通年 選択 4単位		
講義目標	少子高齢社会の先進国である我が国において、メタボリックシンドロームを代表とする生活習慣病の予防は喫緊の課題であり、この分野への情報技術の活用が期待されている。本研究では、日常の生活環境で発生する個人の健康状態と生活習慣に関わるデータを対象とし、個人毎に健康を維持・増進するための情報を獲得する新しい健康・医療情報学について研究する。		
到達目標	1.個人の健康状態の時系列的な変化に着目して健康管理を行う新しい概念を理解する。 2.健康状態と生活習慣の経時的多項目データを分析する手法を理解する。		
学位授与方針との対応	✓	健康・医療・福祉に関する先端的研究や情報技術開発研究を自立して行うための豊かな見識と専門的知識・技能を身につけている。	
	✓	独自の研究計画を立案して、それを実行することにより、研究成果を得る能力を身につけている。	
	✓	研究の成果を適切に取りまとめ、専門学会で口頭発表するとともに、原著論文を作成して専門学術誌に発表する能力を身につけている。	
	✓	研究成果を地域社会の保健福祉の改善に生かすための実践的応用能力を身につけている。	
	✓	保健福祉分野の専門職として高い倫理性と強固な責任感をもって、自らの研究を遂行する能力をもつ。	
評価方法	レポート課題にて100%評価する。		
課題に対するフィードバック	ゼミ形式の双方向授業が主体のため、各回の課題に対するフィードバックは講義内で行われる。		
使用教材	必要に応じて関連の資料を配布。		
1	講義内容	健康医療情報学と研究の目的	
	該当する到達目標	予習	シラバスに目を通す。 1時間
	1	復習	講義内容の理解を深める。 2時間
2	講義内容	健康状態と生活習慣	
	該当する到達目標	予習	指定した文献に目を通す。 1時間
	1,2	復習	講義内容の理解を深める。 2時間
3	講義内容	健康寿命の延伸	
	該当する到達目標	予習	指定した文献に目を通す。 1時間
	1,2	復習	講義内容の理解を深める。 2時間
4	講義内容	個人健康医療情報の概念	
	該当する到達目標	予習	指定した文献に目を通す。 1時間
	1,2	復習	講義内容の理解を深める。 2時間
5	講義内容	健康医療情報の安全管理	
	該当する到達目標	予習	指定した文献に目を通す。 1時間
	1,2	復習	講義内容の理解を深める。 2時間
6	講義内容	健康医療情報システム	
	該当する到達目標	予習	指定した文献に目を通す。 1時間
	1,2	復習	指定した課題を実施する。 2時間
7	講義内容	健康医療情報の収集と蓄積	
	該当する到達目標	予習	指定した文献に目を通す。 1時間
	1,2	復習	指定した課題を実施する。 2時間

8	講義内容	生体情報の基礎		
	該当する到達目標	予習	指定した文献に目を通す。	1時間
	1,2	復習	講義内容の理解を深める。	2時間
9	講義内容	非侵襲的生体計測技術		
	該当する到達目標	予習	指定した文献に目を通す。	1時間
	1,2	復習	講義内容の理解を深める。	2時間
10	講義内容	データ処理の概念		
	該当する到達目標	予習	指定した文献に目を通す。	1時間
	2	復習	講義内容の理解を深める。	2時間
11	講義内容	人工知能の基礎		
	該当する到達目標	予習	指定した文献に目を通す。	1時間
	2	復習	講義内容の理解を深める。	2時間
12	講義内容	画像処理技術		
	該当する到達目標	予習	指定した文献に目を通す。	1時間
	2	復習	指定した課題を実施する。	2時間
13	講義内容	健康データ処理演習(I)ーデータ収集ー		
	該当する到達目標	予習	指定した文献に目を通す。	1時間
	2	復習	データ処理方法を修得する。	2時間
14	講義内容	健康データ処理演習(II)ーデータベース構築ー		
	該当する到達目標	予習	指定した文献に目を通す。	1時間
	2	復習	データ処理方法を修得する。	2時間
15	講義内容	健康データ処理演習(III)ーデータベース構築ー		
	該当する到達目標	予習	指定した文献に目を通す。	1時間
	2	復習	データ処理方法を修得する。	2時間
16	講義内容	健康データ処理演習(IV)ーデータ解析ー		
	該当する到達目標	予習	指定した文献に目を通す。	1時間
	2	復習	データ処理方法を修得する。	2時間
17	講義内容	健康データ処理演習(V)ーデータ解析ー		
	該当する到達目標	予習	指定した文献に目を通す。	1時間
	2	復習	データ処理方法を修得する	2時間
18	講義内容	健康データ処理の課題		
	該当する到達目標	予習	指定した文献に目を通す。	1時間
	2	復習	講義内容の理解を深める。	2時間
19	講義内容	機械学習と分類		
	該当する到達目標	予習	指定した文献に目を通す。	1時間
	2	復習	講義内容の理解を深める。	2時間
20	講義内容	ニューラルネットワーク(I)ー学習ー		
	該当する到達目標	予習	指定した文献に目を通す。	1時間
	2	復習	データ処理方法を修得する。	2時間
21	講義内容	ニューラルネットワーク(II)ー分類ー		
	該当する到達目標	予習	指定した文献に目を通す。	1時間
	2	復習	データ処理方法を修得する。	2時間
22	講義内容	ニューラルネットワーク(III)ー認識		

	該当する到達目標	予習	指定した文献に目を通す。	1 時間
	2	復習	データ処理方法を修得する。	2 時間
23	講義内容	健康情報データ解析演習(I)－学習－		
	該当する到達目標	予習	指定した文献に目を通す。	1 時間
	2	復習	指定した課題を実施する。	2 時間
24	講義内容	健康情報データ解析演習(II)－学習－		
	該当する到達目標	予習	指定した文献に目を通す。	1 時間
	2	復習	指定した課題を実施する。	2 時間
25	講義内容	健康情報データ解析演習(III)－分類－		
	該当する到達目標	予習	指定した文献に目を通す。	1 時間
	2	復習	データ処理方法を修得する。	2 時間
26	講義内容	健康情報データ解析演習(IV)－分類－		
	該当する到達目標	予習	指定した文献に目を通す。	1 時間
	2	復習	データ処理方法を修得する。	2 時間
27	講義内容	健康情報データ解析演習(IV)－評価－		
	該当する到達目標	予習	指定した文献に目を通す。	1 時間
	2	復習	データ処理方法を修得する	2 時間
28	講義内容	アソシエーションルール		
	該当する到達目標	予習	指定した文献に目を通す。	1 時間
	2	復習	講義内容の理解を深める。	2 時間
29	講義内容	クラスタリング		
	該当する到達目標	予習	指定した文献に目を通す。	1 時間
	2	復習	講義内容の理解を深める。	2 時間
30	講義内容	全体まとめ・レポート課題の提示		
	該当する到達目標	予習	事前に提示したレポート課題を理解する。	1 時間
	1,2	復習	レポート課題への取り組みに着手。	2 時間
備考	<p>予習・復習を通し、博士後期課程の研究遂行に活用できるように理解を深めること。</p> <p>オフィスアワー :水曜日 3 時限目</p>			

科目名	<b>保健福祉情報システム学研究</b>		
英文名	<b>A Study on Evolution of Information Systems for Health and Welfare</b>		
担当教員	東福寺 幾夫		
時期・単位	保健福祉学専攻博士後期課程 1年 通年 選択 4単位		
講義目標	現代社会において、情報通信技術(ICT)を除外したら保健・医療・福祉は成立し得ない。保健・医療・福祉の運営、その改善に ICT を適切に利用することは、必須要件である。そこで、本研究では、システム開発や導入のプロジェクトマネジメントを行う立場から、医療 ICT に関わる最新の政策動向、技術動向とそれに関わる課題、標準化の動向とそれに関わる課題、プロジェクトマネジメントに関わる知識について理解を深め、人材育成プログラムの試案を作成する。		
到達目標	1.医療情報システムに関わる政策動向を把握できている。 2.医療情報システムの技術動向を把握し、理解できている。 3.医療情報システムの標準化動向を把握し、その現状と限界を理解できている。 4.医療情報システムの構築や運用、改善に従事する人材要件を把握できている。		
学位授与方針との対応	✓	保健・医療・福祉に関する先端的研究や情報技術開発研究を自立して行うための豊かな見識と専門的知識・技能を身につけている	
	✓	独自の研究計画を立案して、それを実行することにより、研究成果を得る力を身につけている	
	✓	研究の成果を適切に取りまとめ、専門学会で口頭発表するとともに、原著論文を作成して専門学術雑誌に発表する能力を身につけている	
	✓	研究成果を地域社会の保健福祉の改善に生かすための実践的応用能力を身につけている	
	✓	保健福祉分野の専門職として高い倫理性と強固な責任感をもって、自らの研究を遂行する能力をもつ	
評価方法	授業への参加態度50%、ディスカッションの内容50%、等を総合して判断する。		
課題に対するフィードバック	レポートについては、事前に課題内容を告知し、記載方法や出題意図、基準をフィードバックする。		
使用教材	必要な資料は適宜提供する		
1	講義内容	Introduction、本研究の進め方	
	該当する到達目標	予習	シラバスを読み、本研究の成果目標を理解する 1時間
	1,2,3,4	復習	配布された資料を読み込む 1時間
2	講義内容	Introduction、本研究の進め方	
	該当する到達目標	予習	シラバスを読み、本研究の成果目標を理解する 1時間
	1,2,3,4	復習	配布された資料を読み込む 1時間
3	講義内容	日本の医療の現状と課題(マクロな統計情報)の分析	
	該当する到達目標	予習	医療に関わる統計データを収集する 1時間
	1	復習	討論内容を振り返り、日本の医療の課題を整理する 1時間
4	講義内容	日本の医療の現状と課題(マクロな統計情報)の分析	
	該当する到達目標	予習	医療に関わる統計データを収集する 1時間
	1	復習	討論内容を振り返り、日本の医療の課題を整理する 1時間
5	講義内容	日本の医療に関わる政策動向の検討	
	該当する到達目標	予習	医療政策の動向資料を収集する 1時間
	1	復習	討論内容を振り返り、日本の医療政策動向を整理する 1時間
6	講義内容	日本の医療に関わる政策動向の検討	
	該当する到達目標	予習	医療政策の動向資料を収集する 1時間
	1	復習	討論内容を振り返り、日本の医療政策動向を整理する 1時間
7	講義内容	日本の医療 ICT に関わる政策動向の検討	

	該当する到達目標	予習	日本の医療 ICT に関わる政策資料を収集する	1 時間
	1	復習	討論内容を振り返り、日本の医療 ICT 政策動向を整理する	1 時間
8	講義内容	日本の医療 ICT に関わる政策動向の検討		
	該当する到達目標	予習	日本の医療 ICT に関わる政策資料を収集する	1 時間
	1	復習	討論内容を振り返り、日本の医療 ICT 政策動向を整理する	1 時間
9	講義内容	海外諸国との比較(マクロな統計情報)の分析		
	該当する到達目標	予習	海外諸国のマクロな医療統計データを収集する	1 時間
	1	復習	討論内容を振り返り、海外諸国と日本の医療の課題を比較し整理する	1 時間
10	講義内容	海外諸国との比較(マクロな統計情報)の分析		
	該当する到達目標	予習	海外諸国のマクロな医療統計データを収集する	1 時間
	1	復習	討論内容を振り返り、海外諸国と日本の医療の課題を比較し整理する	1 時間
11	講義内容	討議 日本の医療 ICT の背景にあるもの		
	該当する到達目標	予習	これまでの検討内容をまとめ、整理する	1 時間
	1	復習	討論内容を整理する	1 時間
12	講義内容	討議 日本の医療 ICT の背景にあるもの		
	該当する到達目標	予習	これまでの検討内容をまとめ、整理する	1 時間
	1	復習	討論内容を整理する	1 時間
13	講義内容	情報通信技術の最新動向		
	該当する到達目標	予習	情報通信技術に関わる動向資料を収集する	1 時間
	2	復習	討論内容を振り返り、情報通信技術動向を整理する	1 時間
14	講義内容	情報通信技術の最新動向		
	該当する到達目標	予習	情報通信技術に関わる動向資料を収集する	1 時間
	2	復習	討論内容を振り返り、情報通信技術動向を整理する	1 時間
15	講義内容	医療 ICT の技術動向		
	該当する到達目標	予習	医療情報システムの構築技術の最新トレンド情報を収集する	1 時間
	2	復習	討論内容を振り返り、医療 ICT のトレンドを整理する	1 時間
16	講義内容	医療 ICT の技術動向		
	該当する到達目標	予習	医療情報システムの構築技術の最新トレンド情報を収集する	1 時間
	2	復習	討論内容を振り返り、医療 ICT のトレンドを整理する	1 時間
17	講義内容	医療 ICT の標準化動向		
	該当する到達目標	予習	医療 ICT の標準化情報を収集する	1 時間
	2	復習	討論内容を振り返り、標準化動向を整理する	1 時間
18	講義内容	医療 ICT の標準化動向		
	該当する到達目標	予習	医療 ICT の標準化情報を収集する	1 時間
	2	復習	討論内容を振り返り、標準化動向を整理する	1 時間
19	講義内容	医療 ICT 標準化の現状と課題		
	該当する到達目標	予習	医療 ICT の標準化に関わる課題情報を収集する	1 時間
	3	復習	討論内容を振り返り、標準化に関わる課題を整理する	1 時間
20	講義内容	医療 ICT 標準化の現状と課題		
	該当する到達目標	予習	医療 ICT の標準化に関わる課題情報を収集する	1 時間
	3	復習	討論内容を振り返り、標準化に関わる課題を整理する	1 時間
21	講義内容	討議 医療 ICT の標準化の意義と要件		
	該当する到達目標	予習	これまでの標準化に関わる検討内容の取りまとめ	1 時間

	3	復習	討論内容を整理する	1時間
22	講義内容	討議 医療 ICT の標準化の意義と要件		
	該当する到達目標	予習	これまでの標準化に関わる検討内容の取りまとめ	1時間
	3	復習	討論内容を整理する	1時間
23	講義内容	プロジェクトとは		
	該当する到達目標	予習	医療 ICT システム開発プロジェクトとはいかなるものか情報収集する	1時間
	4	復習	討論内容を振り返り、プロジェクトの特性を整理する	1時間
24	講義内容	プロジェクトとは		
	該当する到達目標	予習	医療 ICT システム開発プロジェクトとはいかなるものか情報収集する	1時間
	4	復習	討論内容を振り返り、プロジェクトの特性を整理する	1時間
25	講義内容	プロジェクトマネジメントとは		
	該当する到達目標	予習	システム開発プロジェクトマネジメントに要求される事項をリストアップする	1時間
	4	復習	討論内容を振り返り、プロジェクトマネジメントの要件を整理する	1時間
26	講義内容	プロジェクトマネジメントとは		
	該当する到達目標	予習	システム開発プロジェクトマネジメントに要求される事項をリストアップする	1時間
	4	復習	討論内容を振り返り、プロジェクトマネジメントの要件を整理する	1時間
27	講義内容	プロジェクトマネジメントを担当する人材の要件と育成課題		
	該当する到達目標	予習	マネジメント人材の要件をリストアップする	1時間
	4	復習	討論内容を振り返り、マネジメント人材の要件を整理する	1時間
28	講義内容	プロジェクトマネジメントを担当する人材の要件と育成課題		
	該当する到達目標	予習	マネジメント人材の要件をリストアップする	1時間
	4	復習	討論内容を振り返り、マネジメント人材の要件を整理する	1時間
29	講義内容	医療 ICT システム構築人材の要件と育成プログラム		
	該当する到達目標	予習	医療 ICT システム構築人材の要件と育成課題リストアップする	2時間
	1,2,3,4	復習	討論した事項をまとめ、マネジメント人材の育成プログラムの試案を完成する	2時間
30	講義内容	医療 ICT システム構築人材の要件と育成プログラム		
	該当する到達目標	予習	医療 ICT システム構築人材の要件と育成課題リストアップする	2時間
	1,2,3,4	復習	討論した事項をまとめ、マネジメント人材の育成プログラムの試案を完成する	2時間
備考	事前に配布する関連資料は必ず事前に熟読し、授業時の発表・討議に必要な準備作業を完了させておくこと。 オフィスアワー：月曜日の4時限と水曜日3時限			

科目名	<b>高齢者福祉研究</b>		
英文名	<b>Social Welfare for the Elderly</b>		
担当教員	松沼 記代		
時期・単位	保健福祉学専攻博士後期課程 1年 通年 選択 4単位		
講義目標	我が国の高齢者福祉研究の現状と動向に関する見識を深め、今後のビジョンを検証する。海外の研究論文等を調べて、研究計画に関する課題や研究内容を明確にする。また、高齢者福祉現場の改善に活かす実践応用能力や、研究の手法を習得する。		
到達目標	1.我が国や海外の高齢者福祉研究の現状と動向に関する見識を深める。 2.研究計画に関する課題や研究内容を明確にして、専門学会で発表する能力を習得する。 3.高齢者福祉現場におけるケアや支援の質の改善に向けて、実践応用能力や研究の手法を習得する。		
学位授与方針との対応	✓	健康・医療・福祉に関する先端的研究や情報技術開発研究を自立して行うための豊かな見識と専門的知識・技能を身につけている。	
	✓	独自の研究計画を立案して、それを実行することにより、研究成果を得る能力を身につけている。	
	✓	研究の成果を適切に取りまとめ、専門学会で口頭発表するとともに、原著論文を作成して専門学術誌に発表する能力を身につけている。	
	✓	研究成果を地域社会の保健福祉の改善に生かすための実践的応用能力を身につけている。	
	✓	保健福祉分野の専門職として高い倫理性と強固な責任感をもって、自らの研究を遂行する能力をもつ。	
評価方法	レポート提出及び発表 70%、授業の参加度 30%		
課題に対するフィードバック	レポートはコメントを付けて返却する。発表の際はその場でフィードバックする		
使用教材	適時印刷資料を配布し、参考資料を提示する。発表の際は個々で作成し印刷したレポートや添付資料を印刷して配布する。		
1	講義内容	導入、授業の進め方の説明	
	該当する到達目標	予習	高齢者福祉に関する施策について調べる 2時間
	1,2	復習	高齢者保健福祉に関する施策の問題点について考える。 1.5時間
2	講義内容	介護保険制度の現状と課題 施設サービス①	
	該当する到達目標	予習	介護施設サービスの最新の情報を収集する。 2時間
	1,2	復習	介護施設サービスの現状と問題点を考察する。 1.5時間
3	講義内容	介護保険制度の現状と課題 施設サービス②	
	該当する到達目標	予習	介護施設サービスの最新の情報を収集する。 1.5時間
	1,2	復習	介護施設サービスの現状と問題点を考察する。 1.5時間
4	講義内容	介護2)保険制度の現状と課題 居宅サービス①	
	該当する到達目標	予習	居宅サービスの最新の情報を収集する。 1.5時間
	1,2	復習	居宅サービスの現状と問題点を考察する。 1.5時間
5	講義内容	介護保険制度の現状と課題 居宅サービス②	
	該当する到達目標	予習	居宅サービスの最新の情報を収集する。 1時間
	1,2	復習	居宅サービスの現状と問題点を考察する。 1時間
6	講義内容	介護保険制度の現状と課題 ケアの質の評価	
	該当する到達目標	予習	ケアの質の評価方法について調べる 2時間
	1,2	復習	学修したケアの質の評価方法以外について調べる。 1時間
7	講義内容	海外のケアの質の評価方法	
	該当する到達目標	予習	海外のケアの質の評価方法について調べる。 2時間
	1,2	復習	その他の評価方法について調べる 1時間

8	講義内容	高齢者福祉施設における人材育成の現状と課題 施設内研修プログラム		
	該当する到達目標	予習	高齢者福祉施設や事業所の人材育成に関する情報を収集する。	2時間
	1,2	復習	高齢者福祉施設や事業所の人材育成に関する現状と課題を整理し、考察する。	1時間
9	講義内容	高齢者福祉施設における人材育成の現状と課題 定例研修①		
	該当する到達目標	予習	高齢者福祉施設や事業所の定例研修に関する情報を収集する。	1.5時間
	1,2	復習	高齢者福祉施設や事業所の定例研修に関する現状と課題を整理し、考察する。	1時間
10	講義内容	高齢者福祉施設における人材育成の現状と課題 定例研修②		
	該当する到達目標	予習	高齢者福祉施設や事業所の定例研修に関する情報を収集する。	1.5時間
	1,2	復習	高齢者福祉施設や事業所の定例研修に関する現状と課題を整理し、考察する。	1時間
11	講義内容	高齢者福祉施設における人材育成の現状と課題 OJT①		
	該当する到達目標	予習	高齢者福祉施設や事業所のOJTに関する情報を収集する。	2時間
	1,2	復習	高齢者福祉施設や事業所のOJTに関する現状と課題を整理し、考察する。	1時間
12	講義内容	高齢者福祉施設における人材育成の現状と課題 OJT②		
	該当する到達目標	予習	高齢者福祉施設や事業所のOJTに関する情報を収集する。	1時間
	1,2	復習	高齢者福祉施設や事業所のOJTに関する現状と課題を整理し、考察する。	1.5時間
13	講義内容	高齢者福祉施設における人材育成の現状と課題 スーパービジョン①		
	該当する到達目標	予習	スーパービジョンの意味と方法について調べる。	2時間
	1,2	復習	福祉施設や事業所におけるスーパービジョンの現状と課題を整理し、考察する。	1時間
14	講義内容	高齢者福祉施設における人材育成の現状と課題 スーパービジョン②		
	該当する到達目標	予習	スーパービジョンに関する文献を調べる。	2時間
	1,2	復習	海外のスーパービジョンに関する文献を調べ、我が国の課題を考察する。	1.5時間
15	講義内容	高齢者福祉サービスにおけるリーダー論①		
	該当する到達目標	予習	リーダー論に関する文献を調べる。	1.5時間
	1,2	復習	高齢者福祉サービスにおけるリーダーのあり方を考察する。	1.5時間
16	講義内容	高齢者福祉サービスにおけるリーダー論②		
	該当する到達目標	予習	高齢者福祉サービスにおけるリーダーの現状と課題を調べる	1.5時間
	1,2	復習	リーダー論についてレポートにまとめる。	1.5時間
17	講義内容	海外の高齢者施設における人材育成プログラムの現状と動向①		
	該当する到達目標	予習	海外の高齢者施設における人材育成プログラムについて調べる。	2時間
	1,2	復習	海外の高齢者施設における人材育成プログラムのあり方を考察する。	1時間
18	講義内容	海外の高齢者施設における人材育成プログラムの現状と動向②		
	該当する到達目標	予習	海外の高齢者施設における人材育成プログラムについて調べる。	1.5時間
	1,2	復習	我が国に適用できる方法について考察する。	1.5時間
19	講義内容	海外の高齢者施設における人材育成プログラムの現状と動向③		
	該当する到達目標	予習	海外の高齢者施設における人材育成プログラムについて調べる。	1.5時間
	1,2	復習	我が国に適用できる方法について考察する。	1.5時間
20	講義内容	地域包括ケアの現状と課題 市町村の動向①		
	該当する到達目標	予習	地域包括ケアにおける施策の最新の情報を収集する。	2時間
	1,2	復習	地域包括ケアにおける施策の課題を整理し、考察する。	1時間
21	講義内容	地域包括ケアの現状と課題 市町村の動向②		
	該当する到達目標	予習	自分の居住地の地域包括ケアの現状を調べる。	2時間
	2,3	復習	自分の居住地の地域包括ケアの課題を考察する。	1.5時間
22	講義内容	地域包括ケアの現状と課題 総合事業①		

	該当する到達目標	予習	総合事業に関する施策について調べる。	1.5 時間
	1,2	復習	総合事業の施策の課題を考察する。	1.5 時間
	講義内容	地域包括ケアの現状と課題 総合事業②		
23	該当する到達目標	予習	自分の居住地や関係する市町村の総合事業について調べる。	2 時間
	2,3	復習	自分の居住地や関係する市町村の総合事業の課題を考察する。	1 時間
	講義内容	地域包括ケアの現状と課題 他職種連携①		
24	該当する到達目標	予習	地域包括ケアの他職種連携のあり方について調べる。	2 時間
	1,2	復習	地域包括ケアの他職種連携の課題について考察する。	1 時間
	講義内容	地域包括ケアの現状と課題 他職種連携②		
25	該当する到達目標	予習	自分の居住地や関係する市町村の他職種連携について調べる。	1.5 時間
	2,3	復習	自分の居住地や関係する市町村の他職種連携の課題について考察する。	1.5 時間
	講義内容	海外の介護予防事業の現状と動向①		
26	該当する到達目標	予習	海外の介護予防事業について調べる。	2 時間
	1,2,3	復習	学修した内容を我が国に当てはめて考察する。	1 時間
	講義内容	海外の介護予防事業の現状と動向②		
27	該当する到達目標	予習	海外の介護予防事業について調べる。	1.5 時間
	1,2,3	復習	我が国の介護予防事業の課題を考察する。	1.5 時間
	講義内容	海外の認知症ケアの現状と動向①		
28	該当する到達目標	予習	海外の認知症ケアの動向を調べ、発表の準備をする。	2 時間
	1,2	復習	学修した内容を我が国に当てはめて考察する。	1.5 時間
	講義内容	海外の認知症ケアの現状と動向②		
29	該当する到達目標	予習	海外の認知症ケアの動向を調べ、発表の準備をする。	1.5 時間
	1,2,3	復習	学修した内容を我が国に当てはめて考察する。	1.5 時間
	講義内容	発表とまとめ		
30	該当する到達目標	予習	自分の研究に応用できるテーマを調べ、発表の準備をする。	2 時間
	1,2	復習	発表した内容を考察し、修正する。	2 時間
備考	オフィスアワー: 月曜日 3 限、水曜日 3 限 質問や意見はメールからも受け付ける。メールアドレス: <a href="mailto:k-matsunuma@takasaki-u.ac.jp">k-matsunuma@takasaki-u.ac.jp</a>			

科目名	<b>子育て発達支援研究</b>			
英文名	<b>Children Development Support Research</b>			
担当教員	千葉 千恵美			
時期・単位	保健福祉学専攻博士後期課程 1年 通年 選択 4単位			
講義目標	複雑な家族関係から生じる家族問題や家族背景から起きる児童虐待等を調査し、健全な親子関係の形成並びに愛着関連について健康、医療、福祉、教育等を視野に入れた子どもの発達と親支援の研究を行う。障害並びに精神疾患に罹患している親や外国籍の親、また発達障害の子どもやその親等ハイリスクのある家庭や家族に目を向けた支援方法の研究を行う。保育現場で求められている子育て支援や保育教育の視点に立った支援等子育て支援に関する海外書籍、論文等を読み支援研究を行う。			
到達目標	1.子育てに必要な支援について国内外の書籍、文献、論文を読み知識を得る事が出来る。 2.障害や精神疾患等特別な支援が必要な親支援に向け事例を検討し、問題解決に向けた支援が出来る。 3.愛着形成にむけた支援プログラムを考案し、困難事例への対応について介入方法を提示出来る。 4.児童虐待防止にむけた早期発見、介入に向けた予防策を他機関連携で対応を考案する事が出来る。			
学位授与方針との対応	✓	健康・医療・福祉に関する先端的研究や情報技術開発研究を自立して行うための豊かな見識と専門的知識・技能を身につけている。		
	✓	独自の研究計画を立案して、それを実行することにより、研究成果を得る能力を身につけている。		
	✓	研究の成果を適切に取りまとめ、専門学会で口頭発表するとともに、原著論文を作成して専門学術誌に発表する能力を身につけている。		
	✓	研究成果を地域社会の保健福祉の改善に生かすための実践的応用能力を身につけている。		
	✓	保健福祉分野の専門職として高い倫理性と強固な責任感をもって、自らの研究を遂行する能力をもつ。		
評価方法	中間レポート提出 40%、最終レポート提出 60%とする。			
課題に対するフィードバック	各授業終了後、授業内容についての質問を受けコメントを行う。中間レポート課題並びに最終レポート課題についてフィードバックをする。			
使用教材	1.千葉千恵美著「乳幼児のための保育と親への支援」久美出版社 2006 2.インスー・キム・バーグ著「家族支援ハンドブック」金剛出版社 2010 3.スーザン・H・マクダニエル著「メディカルファミリーセラピー」金剛出版 2016 4.千葉千恵美著「子育て支援の実践」現代図書 2020 5.日本子ども家庭総合研究所 子ども虐待対応の手引き 2014			
1	講義内容	オリエンテーション		
	該当する到達目標	予習	書籍 1.p1-p23 書籍 4. p1-p4 を事前に読み講義内容にふれる	1.5 時間
	1	復習	講義資料を読み返し、子育て支援概要から得られた知識を理解し整理する	1.5 時間
2	講義内容	子どもと家族に関する養育状況 —児童虐待についての検討—		
	該当する到達目標	予習	書籍 5.p29-p35 事前に配布した海外論文に目を通しておく	1.5 時間
	1,2	復習	児童虐待に関する支援方法等海外の対応を含め得られた知識を整理する	1.5 時間
3	講義内容	特別な支援が必要な親への事例対応 —アルコール依存症・薬物依存の対応—		
	該当する到達目標	予習	書籍 5.p276-p280 を事前に読み、講義内容について予備知識を入れる	1.5 時間
	1,2	復習	アルコール依存や薬物依存の親や家族の向けた支援方法等知識を整理する	1.5 時間
4	講義内容	精神疾患が疑われる親や家族の対応 —事例への介入とその支援について—		
	該当する到達目標	予習	書籍 3.p185-p203 を事前に読み、講義内容を把握する	1.5 時間
	1,2,4	復習	親の精神疾患と児童虐待のメカニズムについて理解し、介入方法を整理する	1.5 時間
5	講義内容	親子に向けた面接方法の理解と実践 —調査方法と分析—		
	該当する到達目標	予習	書籍 2.p41-62 を読み、講義内容の予備知識を入れる	1.5.時間
	1,2,3,4	復習	親子に向けた関わりや支援方法等理論的背景による支援と分析の理解をする	1.5 時間

6	講義内容	子育て支援の理論と展開 —歴史や背景や状況について—		
	該当する到達目標	予習	書籍 2,p163-188 を読み、講義内容について予備知識を入れる	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	書籍を読み返し、様々な子育て支援の概要や背景を理解し問題整理をする	1.5 時間
7	講義内容	子育て支援の理解と課題 —愛着形成や愛着関係のメカニズムについて—		
	該当する到達目標	予習	書籍 2,p229-p241 を事前に読み、講義内容について予備知識を入れる	1.5 時間
	1,3	復習	書籍や講義ノートを読み返し、愛着形成に必要な関わりを理解し整理する	1.5 時間
8	講義内容	子育て支援の対応で出てくる問題と解決策		
	該当する到達目標	予習	書籍 2,p152-p162 を読み、講義内容について予備知識を入れる	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	書籍や講義ノートを読み返し、子育て支援の問題と解決策への理解し整理する	1.5 時間
9	講義内容	親子関係の構築 —妊娠期から乳幼児期に必要な支援—		
	該当する到達目標	予習	書籍 5,p318-319 を事前に読み、講義内容について予備知識を入れる	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	妊娠期から出産後の親子形成に向けた関わりについて支援を理解し整理する	1.5 時間
10	講義内容	他機関連携と協働の必要性 —母子包括支援センター等他機関の協力について—		
	該当する到達目標	予習	書籍 5,pp202p206 を事前に読み、講義内容の予備知識を入れる	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	関連機関の役割及び連携・協働による介入と解決策について理解し整理する	1.5 時間
11	講義内容	ハイリスクを予防する子育て支援について —様々な事例検討を通して—		
	該当する到達目標	予習	書籍 5,p256-p264 を事前に読み、講義内容について予備知識を入れる	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	ハイリスクの事例及び親子関係への支援を理解し整理する	1.5 時間
12	講義内容	ハイリスクのある特定妊婦の事例への理解と支援		
	該当する到達目標	予習	書籍 5,pp242-p246 p280-287 を事前に読み、講義内容の予備知識を入れる	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	特定妊婦の配慮と児童虐待防止に向けた対応の理解を整理する	1.5 時間
13	講義内容	再生家族に向けた支援方法 —里親支援やステップファミリーへの対応—		
	該当する到達目標	予習	書籍 5,p241 p215-p254 を事前に読み、講義内容の予備知識を入れる	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	新たな家族再生に向けた支援について親子の関わりを理解し整理する	1.5 時間
14	講義内容	医療・保育・教育現場に求められるこれからの子育て支援		
	該当する到達目標	予習	書籍 5,p202-p206 を事前に読み、講義内容について予備知識を入れる	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	医療や保育・教育機関と家庭で求められる連携・協働について理解し整理する	1.5 時間
15	講義内容	親子関係から生じる児童虐待に向けた予防策		
	該当する到達目標	予習	書籍 5,p29-p39 を事前に読み、講義内容の予備知識を入れる	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	親子関係から見える児童虐待予防に向けた解決策を理解し整理する	1.5 時間
16	講義内容	要保護児童と親の養育態度や養育状況との関連性		
	該当する到達目標	予習	書籍 5,p108p123 p124-p132 を事前に読み、予備知識を入れる	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	要保護児童と親の養育状況と問題の関連性を理解し解決策を整理する	1.5 時間
17	講義内容	障害傾向のある子どもの医療診断と援助方針について		
	該当する到達目標	予習	書籍 3,p239-p244 を事前に読み、予備知識を入れる	1.5 時間
	2,3,4	復習	医療機関と親支援の必要性について理解し整理する	1.5 時間
18	講義内容	母子分離の不安と愛着障害について		
	該当する到達目標	予習	書籍 5,p157-p169 p170-p182 を事前に読み、講義内容の予備知識を入れる	1.5 時間
	2,3,4	復習	母子分離に関する理解と愛着障害のメカニズムについて理解し整理する	1.5 時間
19	講義内容	国及び自治体に関する法的対応とその支援		
	該当する到達目標	予習	事前に配布した資料を基に、講義内容について予備知識を入れる	1.5 時間
	1,4	復習	国や自治体の対応と児童虐待に向けた取り組みの理解と整理をする	1.5 時間
20	講義内容	地域支援に向けた取り組み —子育て支援センターの実際—		

	該当する到達目標	予習	書籍 4.p70-p82 を事前に読み、予備知識を入れる	1.5 時間
	1,4	復習	地域子育て支援の現状と課題を理解し介入方法を理解し整理する	1.5 時間
	講義内容	子どもへの安全確認に向けた対応と調査分析		
21	該当する到達目標	予習	書籍 5.p290-p293 書籍 4.p106-p114 を事前に読み、予備知識を入れる	1.5 時間
	1,4	復習	子どもの安全確認確保等把握できない事例検討の調査を理解し整理する	1.5 時間
	講義内容	児童虐待死亡事事例についての検討		
22	該当する到達目標	予習	配布した資料や 5.p317p320 を読み、講義内容の予備知識を入れる	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	児童虐待死亡事事例を調査、分析した内容の理解し整理をする	1.5 時間
	講義内容	発達障害と子育て支援		
23	該当する到達目標	予習	書籍 1p38-p47 書籍 4.p10-p24 を事前に読み、講義内容の予備知識を入れる	1.5 時間
	1,4	復習	発達障害を持つ子どもの育児不安について理解し、親支援の方法を整理する	1.5 時間
	講義内容	被虐待児童への子育て支援		
24	該当する到達目標	予習	書籍 1.p2-p23 書籍 4p25-p32 を事前に読み、講義内容の予備知識を入れる	1.5 時間
	1,3,4	復習	愛着障害の養育課題と子育て支援の理解について整理をする	1.5 時間
	講義内容	国際結婚の子育て支援方法 —外国籍の親を持つ子どもとその親—		
25	該当する到達目標	予習	書籍 4.p32-p52 を事前に読み、講義ない湯の予備知識を入れる	1.5 時間
	1,3,4	復習	外国籍の親支援と子どもへの対応について理解し整理する	1.5 時間
	講義内容	双児、多生児低体重児等の出産に伴う特別な支援が必要な子育て支援について		
26	該当する到達目標	予習	書籍 1.p48-p60 書籍 5.319-p329 を事前に読み、講義内容の予備知識を入れる	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	双児、多生児等に伴う子育て支援お必要性を理解し整理する	1.5 時間
	講義内容	0.1.2 歳である乳幼児期における子育て支援の必要性		
27	該当する到達目標	予習	書籍 1.p48-p60 を事前に読み、講義内容について予備知識を入れる	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	0.1. 2 歳児の育つ環境と関わりに向けた子育て支援を理解し整理する	1.5 時間
	講義内容	問題の早期発見と早期介入について		
28	該当する到達目標	予習	書籍 1.p36-p37 p61-p68 を事前に読み、講義内容の予備知識を入れる	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	親子の関係に気づき早期の発見と介入の必要性を理解し整理する	1.5 時間
	講義内容	家族関係や夫婦の関係 原家族の関わりと現状の課題		
29	該当する到達目標	予習	書籍 2.p247-p259 書籍 3.p3-p25 を事前に読み、講義内容の予備知識を入れる	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	家族の形成や原家族の影響について理解し整理する	1.5 時間
	講義内容	まとめ 子育て発達支援の必要性		
30	該当する到達目標	予習	今までの書籍また講義ノートを総合的に振り返る	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	子育て発達研究である講義内容を振り返り、研究調査を深める	1.5 時間
備考	<p>授業の進め方:博士論文に必要な子育て支援の知識や技術の修得並びに研究方法を考える形式をとる。また書籍や文献等を利用してデータの読み取りや収集に向けた研究方法も取り入れる。</p> <p>KEY WORD:子育て支援 親支援 発達 ハイリスクのある家庭への対応 児童虐待防止</p> <p>オンラインで実施する場合は、オンデマンド型授業とする。資料の配布や課題の提出には C-learning を用いる。</p>			

科目名	<b>福祉人材育成研究</b>		
英文名	<b>Human Resource Development for a Person Engaged in Social Welfare Service</b>		
担当教員	永田 理香		
時期・単位	保健福祉学専攻博士後期課程 1年 通年 選択 4単位		
講義目標	現在、福祉人材確保政策において人材育成の重要性が注目され、キャリアパスの策定や人材育成認証評価制度等の取組みが進められてきている。本講義では、福祉専門職が将来展望を持ちながらキャリアアップできる人材育成のあり方について、教育学的視点を取り入れながら学んでいく。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.人材育成の基礎的知識を身につけることができる。</li> <li>2.人材育成に関する理論について理解することができる。</li> <li>3.人材育成の方法について理解することができる。</li> <li>4.職場レベルにおける人材育成について理解することができる。</li> <li>5.都道府県レベルの人材育成について理解することができる。</li> <li>6.教育学的視点から人材育成の方法について理解することができる。</li> </ol>		
学位授与方針との対応	✓	健康・医療・福祉に関する先端的研究や情報技術開発研究を自立して行うための豊かな見識と専門的知識・技能を身につけている。	
		独自の研究計画を立案して、それを実行することにより、研究成果を得る能力を身につけている。	
		研究の成果を適切に取りまとめ、専門学会で口頭発表するとともに、原著論文を作成して専門学術誌に発表する能力を身につけている。	
	✓	研究成果を地域社会の保健福祉の改善に生かすための実践的応用能力を身につけている。	
		保健福祉分野の専門職として高い倫理性と強固な責任感をもって、自らの研究を遂行する能力をもつ。	
評価方法	ディスカッションを中心とした授業展開とするため、授業における発言内容(50%)、最終講義における研究成果の発表内容(50%)により総合的に評価する。		
課題に対するフィードバック	提出されたレポートについては、出題した意図について解説を行い、コメントを付け返却を行なう。		
使用教材	講義に使用する資料は適宜配布する。また、参考資料、文献等は、講義内容に基づき提示する。		
1	講義内容	イントロダクション—人材育成とは—	
	該当する到達目標	予習	人材育成の定義について調べる。 1時間
	1	復習	人材育成における組織と個人の関わりについて理解を深める。 1時間
2	講義内容	人材育成の歴史	
	該当する到達目標	予習	人材育成の歴史の流れについて調べる。 1時間
	1	復習	人材育成の歴史と社会的背景の関係性について理解を深める。 1時間
3	講義内容	人材育成とキャリア開発	
	該当する到達目標	予習	キャリア開発の方法について調べる。 1時間
	1	復習	人材育成とキャリア開発の関係性について理解を深める。 1時間
4	講義内容	福祉人材育成に関する政策的変遷	
	該当する到達目標	予習	最近の福祉人材育成に関する政策を調べる。 1時間
	1	復習	福祉人材育成における政策の課題について理解を深める。 1時間
5	講義内容	人材育成に関する理論(1)学習理論	
	該当する到達目標	予習	学習理論の基礎的内容について調べる。 1時間
	2	復習	人材育成と学習理論との関わりについて理解を深める。 1時間
6	講義内容	人材育成に関する理論(2)動機付け理論	
	該当する到達目標	予習	動機付け理論の基礎的内容について調べる。 1時間
	2	復習	人材育成と動機付け理論との関わりについて理解を深める。 1時間

7	講義内容	人材育成に関する理論(3)学習環境のデザイン		
	該当する到達目標	予習	学習環境デザインに関する基礎的内容を調べる。	1時間
	2	復習	人材育成と学習デザインの関わりについて理解を深める。	1時間
8	講義内容	人材育成に関する理論(4)カリキュラムデザイン		
	該当する到達目標	予習	カリキュラムデザインの基礎的内容について調べる。	1時間
	2	復習	カリキュラムデザインと人材育成との関わりについて理解を深める。	1時間
9	講義内容	人材育成に関する理論(5)インストラクショナルデザイン		
	該当する到達目標	予習	インストラクショナルデザインの基礎的内容について調べる。	1時間
	2	復習	人材育成とインストラクショナルデザインの関わりについて理解を深める。	1時間
10	講義内容	人材育成に関する理論(6)カリキュラムマネジメント		
	該当する到達目標	予習	カリキュラムマネジメントの基礎的内容について調べる。	1時間
	2	復習	人材育成とカリキュラムマネジメントの関わりについて理解を深める。	1時間
11	講義内容	人材育成に関する理論(7)教育・研修の評価		
	該当する到達目標	予習	教育・研修の評価手法について調べる。	1時間
	2	復習	人材育成における評価手法について理解を深める。	1時間
12	講義内容	人材育成の方法(1)OJT		
	該当する到達目標	予習	OJTの基礎的内容について調べる。	1時間
	3	復習	効果的なOJTの実施方法について理解を深める。	1時間
13	講義内容	人材育成の方法(2)OFF-JT		
	該当する到達目標	予習	OFF-JTの基礎的内容について調べる。	1時間
	3	復習	効果的なOFF-JTの実施方法について理解を深める。	1時間
14	講義内容	人材育成の方法(3)SDS		
	該当する到達目標	予習	SDSの基礎的内容について調べる。	1時間
	3	復習	効果的なSDSの実施方法について理解を深める。	1時間
15	講義内容	総合討論及び中間発表		
	該当する到達目標	予習	前期の学習内容を整理し、学習の成果をまとめる。	1時間
	1,2,3	復習	指摘された事項について考察を深める。	1時間
16	講義内容	福祉・介護サービスの特性と人材育成		
	該当する到達目標	予習	福祉・介護サービスの特性について考察する。	1時間
	4	復習	福祉・介護サービスの特性に基づく人材育成のあり方について理解を深める。	1時間
17	講義内容	職場レベルにおける人材育成(1)職場研修のプロセス		
	該当する到達目標	予習	福祉の職場研修の方法について調べる。	1時間
	4	復習	福祉の職場研修のプロセスについて理解を深める。	1時間
18	講義内容	職場レベルにおける人材育成(2)職場研修の推進体制		
	該当する到達目標	予習	職場研修を推進するための要素について考察する。	1時間
	4	復習	職場研修の推進体制における課題について理解を深める。	1時間
19	講義内容	職場レベルにおける人材育成(3)年間研修計画と研修企画		
	該当する到達目標	予習	年間研修計画の例を調べる。	1時間
	4	復習	年間研修計画及び研修企画の方法について理解を深める。	1時間
20	講義内容	職場レベルにおける人材育成(4)福祉研修における課題		
	該当する到達目標	予習	職場レベルにおける人材育成の課題について振り返る。	1時間
	4	復習	職場レベルにおける人材育成の課題及び推進方法について理解を深める。	1時間
21	講義内容	都道府県レベルにおける人材育成(1)社会福祉研修事業実施機関の役割		

	該当する到達目標	予習	社会福祉研修事業の実施主体について調べる。	1時間
	5	復習	社会福祉研修事業実施機関の役割について理解を深める。	1時間
22	講義内容	都道府県レベルにおける人材育成②研修体系の構築		
	該当する到達目標	予習	都道府県社会福祉研修事業実施機関の研修体系の例を調べる。	1時間
	5	復習	都道府県社会福祉研修事業の研修体系における課題について理解を深める。	1時間
23	講義内容	都道府県レベルにおける人材育成③福祉職場への支援—福祉人材育成認証評価制度—		
	該当する到達目標	予習	福祉人材育成認証評価制度の事例について調べる。	1時間
	5	復習	福祉人材育成認証評価制度の意義と課題について理解を深める。	1時間
24	講義内容	都道府県レベルにおける人材育成④研修事業実施における課題		
	該当する到達目標	予習	都道府県レベルにおける人材育成の課題について振り返る。	1時間
	5	復習	都道府県レベルにおける人材育成の課題及び推進方法について理解を深める。	1時間
25	講義内容	福祉人材育成の基準—求められる能力—		
	該当する到達目標	予習	福祉人材に求められる能力について考察する。	1時間
	6	復習	福祉人材育成の基準における課題について理解を深める。	1時間
26	講義内容	福祉人材育成におけるキャリアパス		
	該当する到達目標	予習	前期に学習したカリキュラムデザインの手法について確認する。	1時間
	6	復習	カリキュラムデザインの手法を援用したキャリアパスの構築方法について理解を深める。	1時間
27	講義内容	福祉人材育成におけるカリキュラムデザイン		
	該当する到達目標	予習	前期に学習したカリキュラムデザインの手法について確認する。	1時間
	6	復習	カリキュラムデザインの手法を援用したキャリアパスの構築方法について理解を深める。	1時間
28	講義内容	福祉人材育成におけるカリキュラムマネジメント		
	該当する到達目標	予習	前期に学習したカリキュラムマネジメントのプロセスについて確認する。	1時間
	6	復習	カリキュラムマネジメントの手法を援用した福祉人材育成の効果について理解を深める。	1時間
29	講義内容	福祉人材育成の標準化に向けて		
	該当する到達目標	予習	標準化の定義について調べる。	1時間
	6	復習	福祉人材育成の標準化に向けた課題について理解を深める。	1時間
30	講義内容	総合討論及び研究成果の発表		
	該当する到達目標	予習	学習内容を整理し、学習の成果をまとめる。	1時間
	1,2,3,4,5,6	復習	発表内容を振り返り、学習内容を発展させる。	1時間
備考	<p>オフィスアワー:火曜日3時限、水曜日2時限</p> <p>研究室:1号館3階309(メールアドレスは授業時にアナウンスする。)</p> <p>配布した資料を基に、復習と自主的な発展的学習を行うこと。</p> <p>予習・復習時間は、総合討論前後の学習や研究成果の発表準備で適宜補完すること。</p>			

科目名	<b>違法物質使用障害支援研究</b>		
英文名	Illegal Substance Use Disorders		
担当教員	池田 朋広		
時期・単位	保健福祉学専攻博士後期課程 1年 通年 選択 4単位		
講義目標	違法薬物使用者は、法で規制されている物質を使用するという点で司法の対象であり、依存症をはじめとする精神疾患の治療が必要な医療の対象であり、児童/性的虐待・貧困など生活支援が必要な福祉の対象でもある。これまで、司法対応が中心であった違法薬物使用障害者だが、再犯者が後を絶たない状況にあって、違法薬物使用者への刑罰の意味が問い直されている。ここでは、近年注目されているハームリダクションの考え方も視野に入れつつ、社会福祉の立場から違法薬物使用者障害者にどのような支援を提供することが望ましいかについて議論したい。また、具体的な議論を展開するために、基礎的な疾患の理解や、現在の政策課題などといった知識を養うことも大切である。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.物質使用障害の疾病・障害について理解できる</li> <li>2.違法物質使用者への我が国の政策について説明できる</li> <li>3.違法物質使用障害をめぐる社会福祉の現状や今後の展望を考察できる</li> <li>4.司法・医療・福祉など現場での実態や課題を考察できる</li> <li>5.違法物質使用障害者への具体的支援策を立てることが出来る</li> </ol>		
学位授与方針との対応	✓	健康・医療・福祉に関する先端的研究や情報技術開発研究を自立して行うための豊かな見識と専門的知識・技能を身につけている。	
		独自の研究計画を立案して、それを実行することにより、研究成果を得る能力を身につけている。	
		研究の成果を適切に取りまとめ、専門学会で口頭発表するとともに、原著論文を作成して専門学術誌に発表する能力を身につけている。	
		研究成果を地域社会の保健福祉の改善に生かすための実践的応用能力を身につけている。	
		保健福祉分野の専門職として高い倫理性と強固な責任感をもって、自らの研究を遂行する能力をもつ。	
評価方法	講義への出席3分の2以上、講義に関する予習・復習の有無ならびに理解度70%、プレゼンテーションやディスカッションの内容20%、授業態度10%を総合して判断。		
課題に対するフィードバック	レポートについては、事前に課題内容を告知し、提出されたレポートの内容について教員の意見をフィードバックする。		
使用教材	適宜参考書を推薦する		
1	講義内容	概説 違法薬物使用者の現状	
	該当する到達目標	予習	全体の概要を理解しておくこと 1時間
	1	復習	資料や参考書で確認すること 1時間
2	講義内容	総論① 司法領域における違法薬物使用者の現状	
	該当する到達目標	予習	講義に関係する資料や論文を読むこと。 1時間
	1	復習	資料や参考書で確認すること 1時間
3	講義内容	総論② 医療領域における違法薬物使用障害者の現状	
	該当する到達目標	予習	講義に関係する資料や論文を読むこと。 1時間
	1	復習	資料や参考書で確認すること 1時間
4	講義内容	総論③ 福祉領域における違法薬物使用障害者の現状	
	該当する到達目標	予習	講義に関係する資料や論文を読むこと。 1時間
	1	復習	資料や参考書で確認すること 1時間
5	講義内容	薬物依存症① 治療の現状	
	該当する到達目標	予習	講義に関係する資料や論文を読むこと。 1時間
	1	復習	資料や参考書で確認すること 1時間

6	講義内容	薬物依存症② 家族介入の現状		
	該当する到達目標	予習	講義に関係する資料や論文を読むこと。	1時間
	1,2	復習	資料や参考書で確認すること	1時間
7	講義内容	薬物依存症③ 福祉支援の現状		
	該当する到達目標	予習	講義に関係する資料や論文を読むこと。	1時間
	1,2	復習	資料や参考書で確認すること	1時間
8	講義内容	依存症以外の物質使用障害① 治療・家族介入		
	該当する到達目標	予習	講義に関係する資料や論文を読むこと。	1時間
	1,2	復習	資料や参考書で確認すること	1時間
9	講義内容	依存症以外の物質使用障害② 支援		
	該当する到達目標	予習	講義に関係する資料や論文を読むこと。	1時間
	1,2	復習	資料や参考書で確認すること	1時間
10	講義内容	併存性障害の治療・介入・支援① 治療		
	該当する到達目標	予習	講義に関係する資料や論文を読むこと。	1時間
	1,2	復習	資料や参考書で確認すること	1時間
11	講義内容	併存性障害の治療・介入・支援② 介入		
	該当する到達目標	予習	講義に関係する資料や論文を読むこと。	1時間
	1,2	復習	資料や参考書で確認すること	1時間
12	講義内容	併存性障害の治療・介入・支援③ 支援		
	該当する到達目標	予習	講義に関係する資料や論文を読むこと。	1時間
	1	復習	資料や参考書で確認すること	1時間
13	講義内容	総合討論①		
	該当する到達目標	予習	講義に関係する資料や論文を読むこと。	1時間
	1,3	復習	資料や参考書で確認すること	1時間
14	講義内容	総合討論②		
	該当する到達目標	予習	講義に関係する資料や論文を読むこと。	1時間
	1,3	復習	資料や参考書で確認すること	1時間
15	講義内容	前期のまとめ		
	該当する到達目標	予習	講義に関係する資料や論文を読むこと。	1時間
	1,2,3,4,5	復習	資料や参考書で確認すること	1時間
16	講義内容	海外の動向 違法薬物使用者への司法機関による取り組みの実際		
	該当する到達目標	予習	講義に関係する資料や論文を読むこと。	1時間
	1,3	復習	資料や参考書で確認すること	1時間
17	講義内容	海外の動向 違法物質使用者への医療・福祉的支援の実際		
	該当する到達目標	予習	講義に関係する資料や論文を読むこと。	1時間
	3,4	復習	資料や参考書で確認すること	1時間
18	講義内容	海外の動向 併存性障害者への支援の実際		
	該当する到達目標	予習	講義に関係する資料や論文を読むこと。	1時間
	3,4	復習	資料や参考書で確認すること	1時間
19	講義内容	就労支援① DARC での取り組みの実際		
	該当する到達目標	予習	講義に関係する資料や論文を読むこと。	1時間
	3,4	復習	資料や参考書で確認すること	1時間
20	講義内容	就労支援② Individual Placement and Support ; IPS の実践		

	該当する到達目標	予習	講義に関する資料や論文を読むこと。	1時間
	3,4	復習	資料や参考書で確認すること	1時間
21	講義内容	医療観察法制度下における違法物質使用障害者への対策① 入院治療		
	該当する到達目標	予習	講義に関する資料や論文を読むこと。	1時間
	1,3	復習	資料や参考書で確認すること	1時間
22	講義内容	医療観察法制度下における違法物質使用障害者への対策② 通院治療		
	該当する到達目標	予習	講義に関する資料や論文を読むこと。	1時間
	1	復習	資料や参考書で確認すること	1時間
23	講義内容	薬物使用とHIV① 治療現状		
	該当する到達目標	予習	講義に関する資料や論文を読むこと。	1時間
	4,5	復習	資料や参考書で確認すること	1時間
24	講義内容	薬物使用とHIV② 当事者支援		
	該当する到達目標	予習	講義に関する資料や論文を読むこと。	1時間
	1	復習	資料や参考書で確認すること	1時間
25	講義内容	違法薬物使用者への具体的支援の現状① Drug Addiction Rehabilitation Center; DARC の取り組み		
	該当する到達目標	予習	講義に関する資料や論文を読むこと。	1時間
	5	復習	資料や参考書で確認すること	1時間
26	講義内容	違法薬物使用者への具体的支援の現状② 全国薬物依存症者家族会連合会の取り組み		
	該当する到達目標	予習	講義に関する資料や論文を読むこと。	1時間
	1	復習	資料や参考書で確認すること	1時間
27	講義内容	違法薬物使用者への具体的支援の現状③ 更生保護施設/保護観察所の取り組み		
	該当する到達目標	予習	講義に関する資料や論文を読むこと。	1時間
	4,5	復習	討論の準備をすること	1時間
28	講義内容	総合討論①		
	該当する到達目標	予習	講義に関する資料や論文を読むこと。	1時間
	1	復習	プレゼンテーションの準備	1時間
29	講義内容	総合討論②		
	該当する到達目標	予習	討論に関する資料や論文を読むこと。	1時間
	1,2,3,4,5	復習	プレゼンテーションの準備	1時間
30	講義内容	後期のまとめ		
	該当する到達目標	予習	討論に関する資料や論文を読むこと。	1時間
	1,2,3,4,5	復習	講義での学習を総括	1時間
備考	<p>予習・復習については、試験前後の学習で補完すること。自ら、疑問や課題となるテーマを毎回持参すること。研究遂行において、学んだことを実践し、それを振り返り、フィードバックすること。</p> <p>オフィスアワー(池田):前後期ともに、火曜4,5限とする。</p>			

科目名	<b>特殊研究(保健福祉学専攻)</b>		
英文名	Seminar for Doctoral Dissertation on Health and Welfare Sciences		
担当教員	指導教員		
時期・単位	保健福祉学専攻博士後期課程 1～3年 通年 必修 12単位		
講義目標	博士論文を作成するにあたり、テーマ確定、研究デザインの作成、計画と実施、データ解析と分析、論文執筆、投稿受理すべての過程において、指導教員による適切な助言・指導により、院生が主体的に完遂する。		
到達目標	関連研究を十分にレビューできる。的確な研究デザインを構築できる。倫理審査の申請書を作成し、承認を得る。研究を自主的に実施し、データを分析できる。結果を総括して、考察を深められる。論文を完成し、原著論文として投稿、受理される。研究者としての倫理観と責任感を高めることができる。		
学位授与方針との対応	✓	健康・医療・福祉に関する先端的研究や情報技術開発研究を自立して行うための豊かな見識と専門的知識・技能を身につけている。	
	✓	独自の研究計画を立案して、それを実行することにより、研究成果を得る能力を身につけている。	
	✓	研究の成果を適切に取りまとめ、専門学会で口頭発表するとともに、原著論文を作成して専門学術誌に発表する能力を身につけている。	
	✓	研究成果を地域社会の保健福祉の改善に生かすための実践的応用能力を身につけている。	
	✓	保健福祉分野の専門職として高い倫理性と強固な責任感をもって、自らの研究を遂行する能力をもつ。	
評価方法	論文の完成度 50%、博士論文作成過程における研究態度(客観性、熱意、誠実さなど)10%、審査の過程評価(発表会での講演・質疑)20%、倫理感 20%、を総合的に評価する。		
課題に対するフィードバック	各指導教員より別途指示する。		
使用教材	各指導教員より別途指示する。		
講義内容	各指導教員より別途指示する。		
	予習	論文提出のフォーマットを準備する・論文執筆の基礎事項を確認する	適宜
	復習	論文完成に向けてこれまで学んだことを振り返る	適宜
備考	各指導教員より別途指示する。		

目名	<b>調理機能学研究</b>		
英文名	<b>Study on Functional Cookery Science</b>		
担当教員	綾部 園子		
時期・単位	食品栄養学専攻博士後期課程 1年 通年 選択 4単位		
講義目標	調理は人間が食物を摂取する最終過程にあり、栄養との接点であるので、対象者の嗜好・摂食嚥下力・食文化・栄養量に合致したものを調製することが重要である。本研究では食品の物理的性質および食べ物に対する人間(特に幼児および高齢者・疾病者)の嗜好・摂食嚥下力との関連について検討し、自分の研究テーマへの発展を目指す		
到達目標	1.各種調理操作によって生じる食品の物性変化について論理的に説明できる 2.調理における水の挙動について説明できる。 3.食べ物に対する人間(特に幼児および高齢者・疾病者)の嗜好・摂食嚥下力について説明できる。 4.知識を自分の研究テーマに反映することができる。		
学位授与方針との対応	✓	健康増進と生活習慣病の予防に貢献する研究や新規食品の開発研究を自立して行うための豊かな見識と専門的知識・技能を身につけている。	
	✓	独自の研究計画を立案して、それを実行することにより、研究成果を得る能力を身につけている。	
		研究の成果を適切に取りまとめ、専門学会で口頭発表するとともに、原著論文を作成して専門学術誌に発表する能力を身につけている。	
		研究成果を地域社会の健康増進と生活習慣病予防に生かすための実践的応用能力を身につけている。	
		食品栄養分野の専門職として高い倫理性と強固な責任感をもって、自らの研究を遂行する能力をもつ。	
評価方法	研究課題の探索と紹介、それに関するディスカッションを中心として評価を行う。授業への取組 50%、プレゼンテーション 50%で評価を行う。		
課題に対するフィードバック	発表・討論での、返答を通じて、フィードバックを行う。		
使用教材	特に指定しないが、参考書を何冊か紹介する。 資料は適宜配布する。		
1	講義内容	イントロダクション	
	該当する到達目標	予習	シラバスを読み、講義の目的などを理解する 1時間
	1,2,3,4	復習	授業内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法などを確認する 1時間
2	講義内容	圧力と温度 講義	
	該当する到達目標	予習	テキストの該当ページに目を通す。 1時間
	1	復習	圧力と温度について理解する。 1時間
3	講義内容	圧力と温度 発表・討論	
	該当する到達目標	予習	圧力と温度に関する文献を検索し、レジュメを作成する。 2時間
	1	復習	討論の内容を確認し、理解を深める。 1時間
4	講義内容	物質の三態 講義	
	該当する到達目標	予習	テキストの該当ページに目を通す。 1時間
	1	復習	物質の三態について理解する。 1時間
5	講義内容	物質の三態 発表・討論	
	該当する到達目標	予習	物質の三態に関する文献を検索し、レジュメを作成する。 2時間
	1	復習	討論の内容を確認し、理解を深める。 1時間
6	講義内容	溶液と界面 講義	
	該当する到達目標	予習	テキストの該当ページに目を通す。 1時間

	1	復習	溶液と界面について理解する。	1時間
7	講義内容		溶液と界面 発表・討論	
	該当する到達目標	予習	溶液と界面に関する文献を検索し、レジュメを作成する。	2時間
	1	復習	討論の内容を確認し、理解を深める。	1時間
8	講義内容		熱と電磁波 講義	
	該当する到達目標	予習	テキストの該当ページに目を通す。	1時間
	1	復習	熱と電磁波について理解する。	1時間
9	講義内容		熱と電磁波 発表・討論	
	該当する到達目標	予習	熱と電磁波に関する文献を検索し、レジュメを作成する。	2時間
	1	復習	討論の内容を確認し、理解を深める。	1時間
10	講義内容		水の集まり方 講義	
	該当する到達目標	予習	テキストの該当ページに目を通す。	1時間
	2	復習	水の集まり方について理解する。	1時間
11	講義内容		水の集まり方 発表・討論	
	該当する到達目標	予習	水の集まり方に関する文献を検索し、レジュメを作成する。	2時間
	2	復習	討論の内容を確認し、理解を深める。	1時間
12	講義内容		水の性質と調理 講義	
	該当する到達目標	予習	テキストの該当ページに目を通す。	1時間
	2	復習	水の性質と調理について理解する。	1時間
13	講義内容		水の性質と調理 発表・討論	
	該当する到達目標	予習	水の性質と調理に関する文献を検索し、レジュメを作成する。	2時間
	2	復習	討論の内容を確認し、理解を深める。	1時間
14	講義内容		水と調理のいろいろ 講義	
	該当する到達目標	予習	テキストの該当ページに目を通す。	1時間
	2	復習	水と調理のいろいろについて理解する。	1時間
15	講義内容		水と調理のいろいろ 発表・討論	
	該当する到達目標	予習	水と調理のいろいろに関する文献を検索し、レジュメを作成する。	2時間
	2	復習	討論の内容を確認し、理解を深める。	1時間
16	講義内容		学外見学	
	該当する到達目標	予習	見学施設と内容について調べておく	1時間
	1,2,3,4	復習	学外見学に関するレポートを作成する	2時間
17	講義内容		食品中の水と電磁波 講義	
	該当する到達目標	予習	テキストの該当ページに目を通す。	1時間
	1,2	復習	食品中の水と電磁波について理解する。	1時間
18	講義内容		食品中の水と電磁波 発表・討論	
	該当する到達目標	予習	食品中の水と電磁波に関する文献を検索し、レジュメを作成する。	2時間
	1,2	復習	討論の内容を確認し、理解を深める。	1時間
19	講義内容		加熱調理のシミュレーション 講義	
	該当する到達目標	予習	テキストの該当ページに目を通す。	1時間
	1,2	復習	加熱調理のシミュレーションについて理解する。	1時間
20	講義内容		加熱調理のシミュレーション 発表・討論	
	該当する到達目標	予習	加熱調理のシミュレーションに関する文献を検索し、レジュメを作成する。	2時間
	1,2	復習	討論の内容を確認し、理解を深める。	1時間

21	講義内容	食品物性と飲み込みやすさ 講義		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当ページに目を通す。	1時間
	1,3	復習	食品物性と飲み込みやすさについて理解する。	1時間
22	講義内容	食品物性と飲み込みやすさ 発表・討論		
	該当する到達目標	予習	食品物性と飲み込みやすさに関する文献を検索し、レジュメを作成する。	2時間
	1,3	復習	討論の内容を確認し、理解を深める。	1時間
23	講義内容	食品物性の測定 講義		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当ページに目を通す。	1時間
	1,3	復習	食品物性の測定について理解する。	1時間
24	講義内容	食品物性の測定 発表・討論		
	該当する到達目標	予習	食品物性の測定に関する文献を検索し、レジュメを作成する。	2時間
	1,3	復習	討論の内容を確認し、理解を深める。	1時間
25	講義内容	咀嚼力の測定 講義		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当ページに目を通す。	1時間
	3	復習	咀嚼力の測定について理解する。	1時間
26	講義内容	咀嚼力の測定 発表・討論		
	該当する到達目標	予習	咀嚼力の測定に関する文献を検索し、レジュメを作成する。	2時間
	3	復習	討論の内容を確認し、理解を深める。	1時間
27	講義内容	嗜好性の測定 講義		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当ページに目を通す。	1時間
	3	復習	嗜好性の測定について理解する。	1時間
28	講義内容	嗜好性の測定 発表・討論		
	該当する到達目標	予習	嗜好性の測定に関する文献を検索し、レジュメを作成する。	2時間
	3	復習	討論の内容を確認し、理解を深める。	1時間
29	講義内容	研究計画、討論		
	該当する到達目標	予習	関連研究をレビューし、研究デザインを考える	3時間
	1,2,3,4	復習	研究計画を吟味し、修正する	2時間
30	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	具体的な、実験計画を立案する	3時間
	1,2,3,4	復習	研究計画を完成するえんく	2時間
備考	<p>予習・復習については、レポート作成等の学習で補完すること。</p> <p>オフィスアワー:授業日の3~5時限、質問はメールでも受け付ける。</p> <p>メールアドレス:ayabe#takasaki-u.ac.jp</p> <p>研究室:1号館3階406研究室</p>			

科目名	食品学研究		
英文名	Food Chemistry Research		
担当教員	松岡 寛樹		
時期・単位	食品栄養学専攻博士後期課程 1年通年 選択 4単位		
講義目標	<p>食生活は、栄養成分補給のためだけではなく、生きていることへの楽しみや喜びを与える重要な要素である。一方、個々の食品は色、香り、味及びテクスチャーという固有の因子を有しており、それらのファクターは食欲など人間の食行動に大きな影響を及ぼしていることは周知の事実である。</p> <p>本講座では、わが国の伝統的野菜について、その嗜好性および機能性から見た文献を購読し、具体的な研究方法を修得する。</p>		
到達目標	<p>1. 新たなテーマを見つける。</p> <p>2. 実験プロトコルをたてることができる。</p>		
学位授与方針との対応	✓	健康増進と生活習慣病の予防に貢献する研究や新規食品の開発研究を自立して行うための豊かな見識と専門的知識・技能を身につけている。	
	✓	独自の研究計画を立案して、それを実行することにより、研究成果を得る能力を身につけている。	
	✓	研究の成果を適切に取りまとめ、専門学会で口頭発表するとともに、原著論文を作成して専門学術誌に発表する能力を身につけている。	
	✓	研究成果を地域社会の健康増進と生活習慣病予防に生かすための実践的応用能力を身につけている。	
	✓	食品栄養分野の専門職として高い倫理性と強固な責任感をもって、自らの研究を遂行する能力をもつ。	
評価方法	論文で評価する(100%)		
課題に対するフィードバック	提出課題に対しコメント等をつけて返却		
使用教材	必要に応じて紹介する		
1	講義内容	ガイダンス、本特論の進め方、到達目標、評価方法の確認	
	該当する到達目標	予習	時間
	1,2	復習	時間
2	講義内容	アブラナ科野菜とその加工品(調査)	
	該当する到達目標	予習	1時間
	1,2	復習	1時間
3	講義内容	アブラナ科野菜とその加工品(討論・考察)	
	該当する到達目標	予習	1時間
	1,2	復習	1時間
4	講義内容	ユリ科野菜とその加工品(調査)	
	該当する到達目標	予習	1時間
	1,2	復習	1時間
5	講義内容	ユリ科野菜とその加工品(討論・考察)	
	該当する到達目標	予習	1時間
	1,2	復習	1時間
6	講義内容	ナス科野菜とその加工品(調査)	
	該当する到達目標	予習	1時間
	1,2	復習	1時間
7	講義内容	ナス科野菜とその加工品(討論・考察)	
	該当する到達目標	予習	1時間

	1,2	復習	関連資料・購読文献の要約	1 時間
8	講義内容	中間まとめ1		
	該当する到達目標	予習	発表用資料の作成	1 時間
	1,2	復習	発表用資料の修正	1 時間
9	講義内容	総合討論 1		
	該当する到達目標	予習	発表用資料の修正	1 時間
	1,2	復習	発表用資料の完成	1 時間
10	講義内容	ウリ科野菜とその加工品(調査)		
	該当する到達目標	予習	関連文献の検索・購読	1 時間
	1,2	復習	関連資料・購読文献の要約	1 時間
11	講義内容	ウリ科野菜とその加工品(討論・考察)		
	該当する到達目標	予習	関連文献の検索・購読	1 時間
	1,2	復習	関連資料・購読文献の要約	1 時間
12	講義内容	セリ科野菜とその加工品(調査)		
	該当する到達目標	予習	関連文献の検索・購読	1 時間
	1,2	復習	関連資料・購読文献の要約	1 時間
13	講義内容	セリ科野菜とその加工品(討論・考察)		
	該当する到達目標	予習	関連文献の検索・購読	1 時間
	1,2	復習	関連資料・購読文献の要約	1 時間
14	講義内容	豆類とその加工品(調査)		
	該当する到達目標	予習	関連文献の検索・購読	1 時間
	1,2	復習	関連資料・購読文献の要約	1 時間
15	講義内容	豆類とその加工品(討論・考察)		
	該当する到達目標	予習	発表用資料の作成	1 時間
	1,2	復習	発表用資料の修正	1 時間
16	講義内容	中間まとめ2		
	該当する到達目標	予習	発表用資料の修正	1 時間
	1,2	復習	発表用資料の完成	1 時間
17	講義内容	総合討論2		
	該当する到達目標	予習	関連文献の検索・購読	1 時間
	1,2	復習	関連資料・購読文献の要約	1 時間
18	講義内容	キノコとその加工品(調査)		
	該当する到達目標	予習	関連文献の検索・購読	1 時間
	1,2	復習	関連資料・購読文献の要約	1 時間
19	講義内容	キノコとその加工品(討論・考察)		
	該当する到達目標	予習	関連文献の検索・購読	1 時間
	1,2	復習	関連資料・購読文献の要約	1 時間
20	講義内容	イモ類とその加工品(調査)		
	該当する到達目標	予習	関連文献の検索・購読	1 時間
	1,2	復習	関連資料・購読文献の要約	1 時間
21	講義内容	イモ類とその加工品(討論・考察)		
	該当する到達目標	予習	関連文献の検索・購読	1 時間
	1,2	復習	関連資料・購読文献の要約	1 時間

22	講義内容	中間まとめ 3		
	該当する到達目標	予習	発表用資料の作成	1 時間
	1,2	復習	発表用資料の修正	1 時間
23	講義内容	総合討論 3		
	該当する到達目標	予習	発表用資料の修正	1 時間
	1,2	復習	発表用資料の完成	1 時間
24	講義内容	穀類とその加工品(調査)		
	該当する到達目標	予習	関連文献の検索・購読	1 時間
	1,2	復習	関連資料・購読文献の要約	1 時間
25	講義内容	穀類とその加工品(討論・考察)		
	該当する到達目標	予習	関連文献の検索・購読	1 時間
	1,2	復習	関連資料・購読文献の要約	1 時間
26	講義内容	畜肉類とその加工品(調査)		
	該当する到達目標	予習	関連文献の検索・購読	1 時間
	1,2	復習	関連資料・購読文献の要約	1 時間
27	講義内容	畜肉類とその加工品(討論・考察)		
	該当する到達目標	予習	関連文献の検索・購読	1 時間
	1,2	復習	関連資料・購読文献の要約	1 時間
28	講義内容	まとめ 1		
	該当する到達目標	予習	発表用資料の作成	1 時間
	1,2	復習	発表用資料の修正	1 時間
29	講義内容	まとめ 2		
	該当する到達目標	予習	発表用資料の作成	1 時間
	1,2	復習	発表用資料の修正	1 時間
30	講義内容	まとめ 3		
	該当する到達目標	予習	発表用資料の作成	1 時間
	1,2	復習	発表用資料の修正	1 時間
備考	予習・復習の時間数: 不足分については中間まとめ・まとめ前等の学習で補完すること。 オフィスアワー: 随時 研究室: 10 号館 3 階 305			

科目名	応用食品学研究		
英文名	Applied food science research		
担当教員	松岡 寛樹		
時期・単位	食品栄養学専攻博士後期課程 1年通年 選択 4単位		
講義目標	<p>食生活は、栄養成分補給のためだけではなく、生きていることへの楽しみや喜びを与える重要な要素である。一方、個々の食品は色、香り、味及びテクスチャーという固有の因子を有しており、それらのファクターは食欲など人間の食行動に大きな影響を及ぼしていることは周知の事実である。</p> <p>本講座では、わが国の伝統的野菜について、その嗜好性および機能性から見た文献を購読し、具体的な研究方法を修得する。</p>		
到達目標	<p>1. 新たなテーマを見つける。</p> <p>2. 実験プロトコルをたてることができる。</p>		
学位授与方針との対応	✓	健康増進と生活習慣病の予防に貢献する研究や新規食品の開発研究を自立して行うための豊かな見識と専門的知識・技能を身につけている。	
	✓	独自の研究計画を立案して、それを実行することにより、研究成果を得る能力を身につけている。	
	✓	研究の成果を適切に取りまとめ、専門学会で口頭発表するとともに、原著論文を作成して専門学術誌に発表する能力を身につけている。	
	✓	研究成果を地域社会の健康増進と生活習慣病予防に生かすための実践的応用能力を身につけている。	
	✓	食品栄養分野の専門職として高い倫理性と強固な責任感をもって、自らの研究を遂行する能力をもつ。	
評価方法	論文で評価する(100%)		
課題に対するフィードバック	提出課題に対しコメント等をつけて返却		
使用教材	必要に応じて紹介する		
1	講義内容	ガイダンス、本特論の進め方、到達目標、評価方法の確認	
	該当する到達目標	予習	時間
	1,2	復習	時間
2	講義内容	食品の一次機能1(調査)	
	該当する到達目標	予習	1時間
	1,2	復習	1時間
3	講義内容	食品の一次機能2(討論・考察)	
	該当する到達目標	予習	1時間
	1,2	復習	1時間
4	講義内容	食品の二次機能1(調査)	
	該当する到達目標	予習	1時間
	1,2	復習	1時間
5	講義内容	食品の二次機能2(討論・考察)	
	該当する到達目標	予習	1時間
	1,2	復習	1時間
6	講義内容	食品の三次機能1(調査)	
	該当する到達目標	予習	1時間
	1,2	復習	1時間
7	講義内容	食品の三次機能2(調査)	
	該当する到達目標	予習	1時間

	1,2	復習	関連資料・購読文献の要約	1 時間
8	講義内容	中間まとめ1		
	該当する到達目標	予習	発表用資料の作成	1 時間
	1,2	復習	発表用資料の修正	1 時間
9	講義内容	総合討論 1		
	該当する到達目標	予習	発表用資料の修正	1 時間
	1,2	復習	発表用資料の完成	1 時間
10	講義内容	一次機能物質の解析(調査)		
	該当する到達目標	予習	関連文献の検索・購読	1 時間
	1,2	復習	関連資料・購読文献の要約	1 時間
11	講義内容	一次機能物質の解析(討論・考察)		
	該当する到達目標	予習	関連文献の検索・購読	1 時間
	1,2	復習	関連資料・購読文献の要約	1 時間
12	講義内容	二次機能物質の解析(調査)		
	該当する到達目標	予習	関連文献の検索・購読	1 時間
	1,2	復習	関連資料・購読文献の要約	1 時間
13	講義内容	二次機能物質の解析(討論・考察)		
	該当する到達目標	予習	関連文献の検索・購読	1 時間
	1,2	復習	関連資料・購読文献の要約	1 時間
14	講義内容	三次機能物質の解析(調査)		
	該当する到達目標	予習	関連文献の検索・購読	1 時間
	1,2	復習	関連資料・購読文献の要約	1 時間
15	講義内容	三次機能物質の解析(討論・考察)		
	該当する到達目標	予習	発表用資料の作成	1 時間
	1,2	復習	発表用資料の修正	1 時間
16	講義内容	中間まとめ2		
	該当する到達目標	予習	発表用資料の修正	1 時間
	1,2	復習	発表用資料の完成	1 時間
17	講義内容	総合討論2		
	該当する到達目標	予習	関連文献の検索・購読	1 時間
	1,2	復習	関連資料・購読文献の要約	1 時間
18	講義内容	漬物加工技術(アブラナ科野菜に関する調査)		
	該当する到達目標	予習	関連文献の検索・購読	1 時間
	1,2	復習	関連資料・購読文献の要約	1 時間
19	講義内容	漬物加工技術(ウリ科野菜に関する調査)		
	該当する到達目標	予習	関連文献の検索・購読	1 時間
	1,2	復習	関連資料・購読文献の要約	1 時間
20	講義内容	漬物加工技術(セリ科野菜に関する調査)		
	該当する到達目標	予習	関連文献の検索・購読	1 時間
	1,2	復習	関連資料・購読文献の要約	1 時間
21	講義内容	漬物加工技術(果実類に関する調査)		
	該当する到達目標	予習	関連文献の検索・購読	1 時間
	1,2	復習	関連資料・購読文献の要約	1 時間

22	講義内容	中間まとめ 3		
	該当する到達目標	予習	発表用資料の作成	1 時間
	1,2	復習	発表用資料の修正	1 時間
23	講義内容	総合討論 3		
	該当する到達目標	予習	発表用資料の修正	1 時間
	1,2	復習	発表用資料の完成	1 時間
24	講義内容	漬物加工技術(漬物副資材に関する調査)		
	該当する到達目標	予習	関連文献の検索・購読	1 時間
	1,2	復習	関連資料・購読文献の要約	1 時間
25	講義内容	漬物加工技術(食品添加物に関する調査)		
	該当する到達目標	予習	関連文献の検索・購読	1 時間
	1,2	復習	関連資料・購読文献の要約	1 時間
26	講義内容	漬物加工技術(素材別漬込み技術に関する調査)		
	該当する到達目標	予習	関連文献の検索・購読	1 時間
	1,2	復習	関連資料・購読文献の要約	1 時間
27	講義内容	漬物加工技術(討論・考察)		
	該当する到達目標	予習	関連文献の検索・購読	1 時間
	1,2	復習	関連資料・購読文献の要約	1 時間
28	講義内容	まとめ 1		
	該当する到達目標	予習	発表用資料の作成	1 時間
	1,2	復習	発表用資料の修正	1 時間
29	講義内容	まとめ 2		
	該当する到達目標	予習	発表用資料の修正	1 時間
	1,2	復習	発表用資料の修正	1 時間
30	講義内容	まとめ 3		
	該当する到達目標	予習	発表用資料の修正	1 時間
	1,2	復習	発表用資料の修正	1 時間
備考	予習・復習の時間数: 不足分については中間まとめ・まとめ前等の学習で補完すること。 オフィスアワー: 随時 研究室: 10 号館 3 階 305			

科目名	<b>食品安全学研究</b>			
英文名	<b>Food Safety Science</b>			
担当教員	村松 芳多子			
時期・単位	食品栄養学専攻博士後期課程 1年 通年 選択 4単位			
講義目標	バイオテクノロジーにより食品は多様化している。新しい農産物による効率化が図られ、農薬の使用による環境汚染など、食べ物や日常生活に大きな影響をもたらしている。食物生産をめぐる最近の研究例と研究手法等を紹介し、食物(食品)について考える。講義を中心に、研究の進め方についてふれる。また、「探求するための方法を自分の力で考え出すこと」を実践する。			
到達目標	<p>「安全、安心とは何か」をふまえ、それぞれの立場に立った際に何をもって安全・安心かを考えることができる。さらに、課題・討論・考察を行い、自分の力で探求するための方法を実践することができる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. テーマを見つけることができる</li> <li>2. テーマについて調べることができる</li> <li>3. 論理的に分析することができる</li> <li>4. 集めた素材を配置することができる</li> <li>5. 説得力のある簡潔な文章を書くことができる</li> </ol>			
学位授与方針との対応	✓	健康増進と生活習慣病の予防に貢献する研究や新規食品の開発研究を自立して行うための豊かな見識と専門的知識・技能を身につけている。		
	✓	独自の研究計画を立案して、それを実行することにより、研究成果を得る能力を身につけている。		
	✓	研究の成果を適切に取りまとめ、専門学会で口頭発表するとともに、原著論文を作成して専門学術誌に発表する能力を身につけている。		
	✓	研究成果を地域社会の健康増進と生活習慣病予防に生かすための実践的応用能力を身につけている。		
	✓	食品栄養分野の専門職として高い倫理性と強固な責任感をもって、自らの研究を遂行する能力をもつ。		
評価方法	論文(レポート)で評価する(100%)			
課題に対するフィードバック	提出課題に対し、コメント等をつけて返却する			
使用教材	必要に応じて配布、および紹介する			
1	講義内容	概要(生産者(生産・製造・加工・流通・販売)と消費者、立場の違いによる考え方の相違)		
	該当する到達目標	予習	関連文献の検索・講読	1時間
	1, 2, 3, 4, 5	復習	関連資料・講読文献の要約	1時間
2	講義内容	食物と食品 1(食物と食品と加工食品)		
	該当する到達目標	予習	関連文献の検索・講読	1時間
	1, 2, 3, 4	復習	関連資料・講読文献の要約	1時間
3	講義内容	食物と食品 2(討論・考察)		
	該当する到達目標	予習	関連文献の検索・講読	1時間
	1, 2, 3, 4, 5	復習	関連資料・講読文献の要約	1時間
4	講義内容	微生物と食品 1-1(微生物と発酵食品)		
	該当する到達目標	予習	関連文献の検索・講読	1時間
	1, 2, 3, 4	復習	関連資料・講読文献の要約	1時間
5	講義内容	微生物と食品 1-2(討論・考察)		
	該当する到達目標	予習	関連文献の検索・講読	1時間
	1, 2, 3, 4, 5	復習	関連資料・講読文献の要約	1時間
6	講義内容	微生物と食品 2-1(発酵生産物の手技と制御)		

	該当する到達目標	予習	関連文献の検索・講読	1時間
	1, 2, 3, 4	復習	関連資料・講読文献の要約	1時間
7	講義内容	微生物と食品 2-2(討論・考察)		
	該当する到達目標	予習	関連文献の検索・講読	1時間
	1, 2, 3, 4, 5	復習	関連資料・講読文献の要約	1時間
8	講義内容	微生物と食品 3-1(発酵生産物の利用)		
	該当する到達目標	予習	関連文献の検索・講読	1時間
	1, 2, 3, 4	復習	関連資料・講読文献の要約	1時間
9	講義内容	微生物と食品 3-2(討論・考察)		
	該当する到達目標	予習	関連文献の検索・講読	1時間
	1, 2, 3, 4, 5	復習	関連資料・講読文献の要約	1時間
10	講義内容	微生物と食品 4-1(微生物の利用と食品の開発、地域環境と特産物)		
	該当する到達目標	予習	関連文献の検索・講読	1時間
	1, 2, 3, 4	復習	関連資料・講読文献の要約	1時間
11	講義内容	微生物と食品 4-2(討論・考察)		
	該当する到達目標	予習	関連文献の検索・講読	1時間
	1, 2, 3, 4, 5	復習	関連資料・講読文献の要約	1時間
12	講義内容	食品表示と法規 1-1(食品衛生法と関連法規)		
	該当する到達目標	予習	関連文献の検索・講読	1時間
	1, 2, 3, 4	復習	関連資料・講読文献の要約	1時間
13	講義内容	食品表示と法規 1-2(討論・考察)		
	該当する到達目標	予習	関連文献の検索・講読	1時間
	1, 2, 3, 4, 5	復習	関連資料・講読文献の要約	1時間
14	講義内容	食品表示と法規 2-1(食品保存と食品添加物・農薬、および生産環境)		
	該当する到達目標	予習	関連文献の検索・講読	1時間
	1, 2, 3, 4	復習	関連資料・講読文献の要約	1時間
15	講義内容	食品表示と法規 2-2(討論・考察)		
	該当する到達目標	予習	関連文献の検索・講読	1時間
	1, 2, 3, 4, 5	復習	関連資料・講読文献の要約	1時間
16	講義内容	食品表示と法規 3-1(表示からみる安全と品質)		
	該当する到達目標	予習	関連文献の検索・講読	1時間
	1, 2, 3, 4	復習	関連資料・講読文献の要約	1時間
17	講義内容	食品表示と法規 3-2(討論・考察)		
	該当する到達目標	予習	関連文献の検索・講読	1時間
	1, 2, 3, 4, 5	復習	関連資料・講読文献の要約	1時間
18	講義内容	食品表示と法規 4-1(食物アレルギーと表示)		
	該当する到達目標	予習	関連文献の検索・講読	1時間
	1, 2, 3, 4	復習	関連資料・講読文献の要約	1時間
19	講義内容	食品表示と法規 4-2(討論・考察)		
	該当する到達目標	予習	関連文献の検索・講読	1時間
	1, 2, 3, 4, 5	復習	関連資料・講読文献の要約	1時間
20	講義内容	細菌汚染とその被害 1-1(細菌による事故事例とその対処方法)		
	該当する到達目標	予習	関連文献の検索・講読	1時間

	1, 2, 3, 4	復習	関連資料・講読文献の要約	1 時間
21	講義内容	細菌汚染とその被害 1-2(討論・考察)		
	該当する到達目標	予習	関連文献の検索・講読	1 時間
	1, 2, 3, 4, 5	復習	関連資料・講読文献の要約	1 時間
22	講義内容	細菌汚染とその被害 2-1(細菌の被害対策)		
	該当する到達目標	予習	関連文献の検索・講読	1 時間
	1, 2, 3, 4	復習	関連資料・講読文献の要約	1 時間
23	講義内容	細菌汚染とその被害 2-2(討論・考察)		
	該当する到達目標	予習	関連文献の検索・講読	1 時間
	1, 2, 3, 4, 5	復習	関連資料・講読文献の要約	1 時間
24	講義内容	カビ汚染とその被害 1-1(カビによる事故事例とその対処方法)		
	該当する到達目標	予習	関連文献の検索・講読	1 時間
	1, 2, 3, 4	復習	関連資料・講読文献の要約	1 時間
25	講義内容	カビ汚染とその被害 1-2(討論・考察)		
	該当する到達目標	予習	関連文献の検索・講読	1 時間
	1, 2, 3, 4, 5	復習	関連資料・講読文献の要約	1 時間
26	講義内容	カビ汚染とその被害 2-1(カビの被害対策)		
	該当する到達目標	予習	関連文献の検索・講読	1 時間
	1, 2, 3, 4	復習	関連資料・講読文献の要約	1 時間
27	講義内容	カビ汚染とその被害 2-2(討論・考察)		
	該当する到達目標	予習	関連文献の検索・講読	1 時間
	1, 2, 3, 4, 5	復習	関連資料・講読文献の要約	1 時間
28	講義内容	まとめ 1(発表・討論・考察)		
	該当する到達目標	予習	発表用資料の作成	1 時間
	1, 2, 3, 4, 5	復習	発表用資料の修正	1 時間
29	講義内容	まとめ 2(発表・討論・考察)		
	該当する到達目標	予習	発表用資料の作成	1 時間
	1, 2, 3, 4, 5	復習	発表用資料の修正	1 時間
30	講義内容	まとめ 3(発表・討論・考察)		
	該当する到達目標	予習	発表用資料の作成	1 時間
	1, 2, 3, 4, 5	復習	発表用資料の修正	1 時間
備考	<p>食品表示に関する法規制を常に確認する。新聞の食品と環境(社会情勢を含む)に関する記事を収集する。新しい食品開発の情報を収集する</p> <p>※ 平日の予習・復習時間の不足分は、土日祝日等に必ず補うこと(課題等は、記載の平日時間だけでは終了できません)</p> <p>オフィスアワー: 講義のある曜日の午後(3~5 時限)</p> <p>授業の進め方: 講義中に予習・復習課題について発表を求められることがある</p> <p>◎ 状況によりオンラインになった場合は別途メール等で連絡する</p> <p>研究室: 1 号館 4 階 404</p> <p>教員への連絡方法は授業内で指示する</p>			

科目名	<b>栄養生化学研究</b>		
英文名	<b>Nutrition Biochemistry Research</b>		
担当教員	田中 進		
時期・単位	食品栄養学専攻博士後期課程 1年 通年 選択 4単位		
講義目標	研究テーマに関する論文を精読し、研究の立案を行う。研究の目的に従い、研究方法、実験方法を構築する。研究を実践することにより研究成果をまとめ、プレゼンテーションと討議を行う。これにより、研究テーマに関する分野で指導的に研究・討議できるレベルに到達することを目標とする。		
到達目標	1.研究テーマに関する論文を精読することができ、研究の立案を行うことができる。 2.研究の目的に従い、研究方法、実験方法を自ら構築することができる。 3.研究を実践することにより研究成果をまとめ、プレゼンテーションと討議を行うことができる。		
学位授与方針との対応	✓	健康増進と生活習慣病の予防に貢献する研究や新規食品の開発研究を自立して行うための豊かな見識と専門的知識・技能を身につけている。	
	✓	独自の研究計画を立案して、それを実行することにより、研究成果を得る能力を身につけている。	
	✓	研究の成果を適切に取りまとめ、専門学会で口頭発表するとともに、原著論文を作成して専門学術誌に発表する能力を身につけている。	
		研究成果を地域社会の健康増進と生活習慣病予防に生かすための実践的応用能力を身につけている。	
	✓	食品栄養分野の専門職として高い倫理性と強固な責任感をもって、自らの研究を遂行する能力をもつ。	
評価方法	講義は対話形式やリサーチ内容の発表形式が中心となる。従って、講義内での発言や発表内容を重視する(評価の50%)。また学期末に課すレポート(レポートの採点にあたっては、講義の内容を十分に理解して分析が行われているかを重視する)による評価を50%とする。 総合評価60%以上を合格とする		
課題に対するフィードバック	ゼミによるディスカッション時のコメントおよびレポートは添削して返却する。		
使用教材	必要に応じて、準備した文献や資料等を用いる		
1	講義内容	イントロダクション	
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容を読んで、講義目標や到達目標などを理解する。 1時間
		復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法などを理解する。 1時間
2	講義内容	専門文献の検索と精読1文献1の精読	
	該当する到達目標	予習	内外で発表された文献の検索 1時間
	1,2,3	復習	文献内容の理解 1時間
3	講義内容	専門文献の検索と精読2文献2の精読	
	該当する到達目標	予習	内外で発表された文献の検索 1時間
	1,2,3	復習	文献内容の理解 1時間
4	講義内容	研究の立案	
	該当する到達目標	予習	研究テーマの作成 1時間
	1,2,3	復習	文献による再調査 1時間
5	講義内容	研究テーマの作成	
	該当する到達目標	予習	研究テーマの作成 1時間
	1,2,3	復習	文献による再調査 1時間
6	講義内容	研究方法の構築	
	該当する到達目標	予習	研究方法、実験方法の構築のための文献調査 1時間
	1,2,3	復習	研究方法、実験方法の構築 1時間

	講義内容	実験方法の構築		
7	該当する到達目標	予習	研究方法、実験方法の構築のための文献調査	1時間
	1,2,3	復習	研究方法、実験方法の構築	1時間
	講義内容	研究の準備		
8	該当する到達目標	予習	研究の実践	1時間
	1,2,3	復習	実験結果の整理	1時間
	講義内容	研究の実践		
9	該当する到達目標	予習	研究の実践	1時間
	1,2,3	復習	実験結果の整理	1時間
	講義内容	研究の実践と経過報告		
10	該当する到達目標	予習	研究の実践	1時間
	1,2,3	復習	実験結果の整理	1時間
	講義内容	研究の報告		
11	該当する到達目標	予習	研究結果の報告書作成	1時間
	1,2,3	復習	実験結果の整理	1時間
	講義内容	研究の報告と討論		
12	該当する到達目標	予習	研究結果の報告書作成	1時間
	1,2,3	復習	実験結果の整理	1時間
	講義内容	研究の討論		
13	該当する到達目標	予習	研究結果の報告書作成	1時間
	1,2,3	復習	実験結果の整理	1時間
	講義内容	研究の討論と修正		
14	該当する到達目標	予習	研究結果の報告書作成	1時間
	1,2,3	復習	実験結果の整理	1時間
	講義内容	中間報告の作成		
15	該当する到達目標	予習	中間報告書の作成	1時間
	1,2,3	復習	中間報告書の修正	1時間
	講義内容	中間報告の発表準備		
16	該当する到達目標	予習	中間報告書の作成	1時間
	1,2,3	復習	中間報告書の修正	1時間
	講義内容	中間報告		
17	該当する到達目標	予習	中間発表練習	1時間
	1,2,3	復習	中間発表の修正	1時間
	講義内容	研究方法、実験方法の修正		
18	該当する到達目標	予習	研究方法、実験方法修正のための文献検索	1時間
	1,2,3	復習	研究方法、実験方法の修正	1時間
	講義内容	研究方法、実験方法の修正と討論		
19	該当する到達目標	予習	研究方法、実験方法修正のための文献検索	1時間
	1,2,3	復習	研究方法、実験方法の修正	1時間
	講義内容	専門文献の検索と研究の実践		
20	該当する到達目標	予習	研究の実践	1時間
	1,2,3	復習	実験結果の整理	1時間
21	講義内容	研究の実践		

	該当する到達目標	予習	研究の実践	1 時間
	1,2,3	復習	実験結果の整理	1 時間
22	講義内容	研究の実践と結果のまとめ		
	該当する到達目標	予習	研究の実践	1 時間
	1,2,3	復習	実験結果の整理	1 時間
23	講義内容	研究結果のまとめ		
	該当する到達目標	予習	研究のまとめ	1 時間
	1,2,3	復習	実験結果の整理	1 時間
24	講義内容	研究結果と報告書の作成		
	該当する到達目標	予習	研究結果の報告書作成	1 時間
	1,2,3	復習	実験結果の整理	1 時間
25	講義内容	研究の報告書作成		
	該当する到達目標	予習	研究結果の報告書作成	1 時間
	1,2,3	復習	実験結果の整理	1 時間
26	講義内容	研究の討論		
	該当する到達目標	予習	研究結果の報告書作成	1 時間
	1,2,3	復習	実験結果の整理	1 時間
27	講義内容	研究結果の発表準備		
	該当する到達目標	予習	研究発表の準備のための文献検索	1 時間
	1,2,3	復習	研究発表の準備	1 時間
28	講義内容	プレゼンテーション		
	該当する到達目標	予習	研究発表の準備のための文献検索	1 時間
	1,2,3	復習	研究発表の準備	1 時間
29	講義内容	プレゼンテーションの修正		
	該当する到達目標	予習	プレゼンテーション用資料作成	1 時間
	1,2,3	復習	プレゼンテーション用資料修正	1 時間
30	講義内容	総まとめ		
	該当する到達目標	予習	研究の成果を抽出	1 時間
	1,2,3	復習	研究の問題点を抽出	1 時間
備考	<p>【オフィスアワー】前期(火 4 時限目)、後期(火 4 時限目)。</p> <p>【授業の進め方】予習・復習の課題について講義中に発表や提出を求めることがある。</p> <p>平日の予習・復習の不足分は、土日祝日等に必ず補うこと</p> <p>研究室:1 号館 4 階 401 研究室</p> <p>オンラインで実施する場合には、別途提示する。</p>			

科目名	<b>栄養生理学研究</b>		
英文名	<b>Nutritional Physiology Research</b>		
担当教員	下川 哲昭		
時期・単位	食品栄養学専攻博士後期課程 1年 通年 選択 4単位		
講義目標	栄養生理学領域における研究法とその実際について自身の研究テーマを選び研究を遂行し研究成果につなげる。特に、 1. 乳汁中のホルモンによる育児行動の解析、 2. 細胞分化因子 EID1 の脂質代謝における抑制機能、 3. 先天性脊椎側弯症における胎児期の栄養素について、の3点に焦点をあてて講義と研究を行う。		
到達目標	1. 研究の醍醐味を味わい、新たな環境でも自分で研究を遂行できる能力を確立することを目標とする。 2. 自身の研究成果を英文への学術雑誌に投稿・掲載することを目指す。		
学位授与方針との対応	✓	健康増進と生活習慣病の予防に貢献する研究や新規食品の開発研究を自立して行うための豊かな見識と専門的知識・技能を身につけている。	
	✓	独自の研究計画を立案して、それを実行することにより、研究成果を得る能力を身につけている。	
	✓	研究の成果を適切に取りまとめ、専門学会で口頭発表するとともに、原著論文を作成して専門学術誌に発表する能力を身につけている。	
	✓	研究成果を地域社会の健康増進と生活習慣病予防に生かすための実践的応用能力を身につけている。	
	✓	食品栄養分野の専門職として高い倫理性と強固な責任感をもって、自らの研究を遂行する能力をもつ。	
評価方法	研究への取り組みと学年末の口頭試問により評価する。60点以上を合格とする。		
課題に対するフィードバック	提出された課題に対して、採点しコメントを付して返却する。		
使用教材	適時資料、文献等を配布する。		
1	講義内容	研究とは？イントロダクションと研究方法について 1	
	該当する到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。 1時間
	1, 2, 3	復習	内容を理解し重要項目や実験手法を研究ノートに詳細に整理・記述しておく。 2時間
2	講義内容	研究とは？イントロダクションと研究方法について 2 研究倫理	
	該当する到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。 1時間
	1, 2, 3	復習	内容を理解し重要項目や実験手法を研究ノートに詳細に整理・記述しておく。 2時間
3	講義内容	研究対象における現在までの既知情報の収集 1	
	該当する到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。 1時間
	1, 2, 3	復習	内容を理解し重要項目や実験手法を研究ノートに詳細に整理・記述しておく。 2時間
4	講義内容	研究対象における現在までの既知情報の収集 2 文献検索	
	該当する到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。 1時間
	1, 2, 3	復習	内容を理解し重要項目や実験手法を研究ノートに詳細に整理・記述しておく。 2時間
5	講義内容	研究ゴールの設定	
	該当する到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。 1時間
	1, 2, 3	復習	内容を理解し重要項目や実験手法を研究ノートに詳細に整理・記述しておく。 2時間
6	講義内容	実験動物の扱い方 1 一般的な注意	
	該当する到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。 1時間
	1, 2, 3	復習	内容を理解し重要項目や実験手法を研究ノートに詳細に整理・記述しておく。 2時間
7	講義内容	実験動物の扱い方 2 小動物の取り扱い	
	該当する到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。 1時間

	1, 2, 3	復習	内容を理解し重要項目や実験手法を研究ノートに詳細に整理・記述しておく。	2時間
8	講義内容	実験動物の扱い方 3 動物実験の倫理		
	該当する到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。	1時間
	1, 2, 3	復習	内容を理解し重要項目や実験手法を研究ノートに詳細に整理・記述しておく。	2時間
9	講義内容	細胞培養法の確立 1 目的		
	該当する到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。	1時間
	1, 2	復習	内容を理解し重要項目や実験手法を研究ノートに詳細に整理・記述しておく。	2時間
10	講義内容	細胞培養法の確立 2 材料		
	該当する到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。	1時間
	1, 2	復習	内容を理解し重要項目や実験手法を研究ノートに詳細に整理・記述しておく。	2時間
11	講義内容	細胞培養法の確立 3 方法と評価		
	該当する到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。	1時間
	1, 2	復習	内容を理解し重要項目や実験手法を研究ノートに詳細に整理・記述しておく。	2時間
12	講義内容	遺伝子導入法の確立 1 方法の選択		
	該当する到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。	1時間
	2	復習	内容を理解し重要項目や実験手法を研究ノートに詳細に整理・記述しておく。	2時間
13	講義内容	遺伝子導入法の確立 2 理論と実際		
	該当する到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。	1時間
	2	復習	内容を理解し重要項目や実験手法を研究ノートに詳細に整理・記述しておく。	2時間
14	講義内容	遺伝子導入法の確立 3 評価		
	該当する到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。	1時間
	2	復習	内容を理解し重要項目や実験手法を研究ノートに詳細に整理・記述しておく。	2時間
15	講義内容	核酸・タンパク質の抽出 1 目的		
	該当する到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。	1時間
	1, 2, 3	復習	内容を理解し重要項目や実験手法を研究ノートに詳細に整理・記述しておく。	2時間
16	講義内容	核酸・タンパク質の抽出 2 方法の選択		
	該当する到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。	1時間
	1, 2, 3	復習	内容を理解し重要項目や実験手法を研究ノートに詳細に整理・記述しておく。	2時間
17	講義内容	核酸・タンパク質の抽出 3 評価		
	該当する到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。	1時間
	1, 2, 3	復習	内容を理解し重要項目や実験手法を研究ノートに詳細に整理・記述しておく。	2時間
18	講義内容	核酸・タンパク質の電気泳動 1 目的		
	該当する到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。	1時間
	1, 2, 3	復習	内容を理解し重要項目や実験手法を研究ノートに詳細に整理・記述しておく。	2時間
19	講義内容	核酸・タンパク質の電気泳動 2 方法の選択		
	該当する到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。	1時間
	1, 2, 3	復習	内容を理解し重要項目や実験手法を研究ノートに詳細に整理・記述しておく。	2時間
20	講義内容	核酸・タンパク質の電気泳動 3 評価		
	該当する到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。	1時間
	1, 2, 3	復習	内容を理解し重要項目や実験手法を研究ノートに詳細に整理・記述しておく。	2時間
21	講義内容	タンパク質の免疫沈降法とウェスタンブロット法 1 理論		
	該当する到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。	1時間
	1, 2, 3	復習	内容を理解し重要項目や実験手法を研究ノートに詳細に整理・記述しておく。	2時間

22	講義内容	タンパク質の免疫沈降法とウェスタンブロット法 2 免疫沈降		
	該当する到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。	1 時間
	1, 2, 3	復習	内容を理解し重要項目や実験手法を研究ノートに詳細に整理・記述しておく。	2 時間
23	講義内容	タンパク質の免疫沈降法とウェスタンブロット法 3 評価		
	該当する到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。	1 時間
	1, 2, 3	復習	内容を理解し重要項目や実験手法を研究ノートに詳細に整理・記述しておく。	2 時間
24	講義内容	実験結果の解釈		
	該当する到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。	1 時間
	1, 2, 3	復習	内容を理解し重要項目や実験手法を研究ノートに詳細に整理・記述しておく。	2 時間
25	講義内容	追試験 1		
	該当する到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。	1 時間
	1, 2, 3	復習	内容を理解し重要項目や実験手法を研究ノートに詳細に整理・記述しておく。	2 時間
26	講義内容	追試験 2		
	該当する到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。	1 時間
	1, 2, 3	復習	内容を理解し重要項目や実験手法を研究ノートに詳細に整理・記述しておく。	2 時間
27	講義内容	論文の作成とプレゼンテーションの準備 1 手順		
	該当する到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。	1 時間
	1, 2, 3	復習	内容を理解し重要項目や実験手法を研究ノートに詳細に整理・記述しておく。	2 時間
28	講義内容	論文の作成とプレゼンテーションの準備 2 注意点		
	該当する到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。	1 時間
	1, 2, 3	復習	内容を理解し重要項目や実験手法を研究ノートに詳細に整理・記述しておく。	2 時間
29	講義内容	論文の作成とプレゼンテーションの準備 3 草稿とプレゼン案の作成		
	該当する到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。	1 時間
	1, 2, 3	復習	内容を理解し重要項目や実験手法を研究ノートに詳細に整理・記述しておく。	2 時間
30	講義内容	論文の作成とプレゼンテーションの準備 4 草稿とプレゼン案の添削		
	該当する到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。	1 時間
	1, 2, 3	復習	内容を理解し重要項目や実験手法を研究ノートに詳細に整理・記述しておく。	2 時間
備考	<p>予習・復習時間は、研究発表・論文作成に関わる自習で補完すること。</p> <p>オフィスアワー: 月曜日(終日)</p> <p>研究の進め方: 自主性を重視し実践的な考え方・技術を習得できるように指導する。</p> <p>メールアドレス: <a href="mailto:shimokawa-n@takasaki-u.ac.jp">shimokawa-n@takasaki-u.ac.jp</a></p> <p>研究室: 1号館 3階 311 研究室</p>			

科目名	<b>臨床栄養学研究</b>		
英文名	<b>Research of Clinical Nutrition</b>		
担当教員	岡村 信一		
時期・単位	食品栄養学専攻博士後期課程 1年 通年 選択 4単位		
講義目標	健康の保持増進および疾病の予防・改善のために、食はきわめて重要である。その観点から、論文等の最新知見を収集・整理して解決すべき問題点を見いだす能力を養う。そして、それに基づいて自身の研究テーマを設定し、計画を立案して研究を遂行する能力を養う。また、研究成果のプレゼンテーションと論文作成についても学習する。		
到達目標	1.食と健康・疾病との関わりに関心を持ち、解決すべき問題点に着目できる。 2.問題解決のための研究を立案・実施して、研究成果のプレゼンテーションと論文発表ができる。		
学位授与方針との対応	✓	健康増進と生活習慣病の予防に貢献する研究や新規食品の開発研究を自立して行うための豊かな見識と専門的知識・技能を身につけている。	
	✓	独自の研究計画を立案して、それを実行することにより、研究成果を得る能力を身につけている。	
	✓	研究の成果を適切に取りまとめ、専門学会で口頭発表するとともに、原著論文を作成して専門学術誌に発表する能力を身につけている。	
	✓	研究成果を地域社会の健康増進と生活習慣病予防に生かすための実践的応用能力を身につけている。	
	✓	食品栄養分野の専門職として高い倫理性と強固な責任感をもって、自らの研究を遂行する能力をもつ。	
評価方法	プレゼンテーション 50%、ディスカッション 50%の状況から総合的に成績を評価する。		
課題に対するフィードバック	適宜ディスカッションをしてフィードバックする。		
使用教材	資料は適宜配布する。		
1	講義内容	<b>ガイダンス</b>	
	該当する到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。 1時間
	1,2	復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。 1時間
2	講義内容	<b>研究の進め方</b>	
	該当する到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。 1時間
	1,2	復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。 1時間
3	講義内容	<b>到達目標と評価方法の確認</b>	
	該当する到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。 1時間
	1,2	復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。 1時間
4	講義内容	<b>研究室と研究設備の利用方法</b>	
	該当する到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。 1時間
	1,2	復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。 1時間
5	講義内容	<b>研究倫理</b>	
	該当する到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。 1時間
	1,2	復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。 1時間
6	講義内容	<b>食と健康・疾病に関する最新文献の収集</b>	
	該当する到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。 1時間
	1,2	復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。 1時間
7	講義内容	<b>食と健康・疾病に関する最新文献の精読吟味</b>	
	該当する到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。 1時間
	1,2	復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。 1時間

8	講義内容	食と健康・疾病に関する先行研究の調査		
	該当する到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1時間
	1,2	復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1時間
9	講義内容	食と健康・疾病に関する先行研究の文献収集		
	該当する到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1時間
	1,2	復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1時間
10	講義内容	食と健康・疾病に関する先行研究の精読吟味		
	該当する到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1時間
	1,2	復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1時間
11	講義内容	研究テーマ探し		
	該当する到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1時間
	1,2	復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1時間
12	講義内容	研究テーマ設定		
	該当する到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1時間
	1,2	復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1時間
13	講義内容	研究計画の立案(概要)		
	該当する到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1時間
	1,2	復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1時間
14	講義内容	研究計画の立案(詳細)		
	該当する到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1時間
	1,2	復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1時間
15	講義内容	実験方法(概要)		
	該当する到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1時間
	1,2	復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1時間
16	講義内容	実験方法(詳細)		
	該当する到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1時間
	1,2	復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1時間
17	講義内容	実験材料(概要)		
	該当する到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1時間
	1,2	復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1時間
18	講義内容	実験材料(詳細)		
	該当する到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1時間
	1,2	復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1時間
19	講義内容	研究の実践とディスカッション(ステップ1)		
	該当する到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1時間
	1,2	復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1時間
20	講義内容	研究の実践とディスカッション(ステップ2)		
	該当する到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1時間
	1,2	復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1時間
21	講義内容	研究の実践とディスカッション(ステップ3)		
	該当する到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1時間
	1,2	復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1時間
22	講義内容	研究の実践とディスカッション(ステップ4)		

	該当する到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1 時間
	1,2	復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1 時間
	講義内容	研究の実践とディスカッション(ステップ 5)		
23	該当する到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1 時間
	1,2	復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1 時間
	講義内容	研究の実践とディスカッション(ステップ 6)		
24	該当する到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1 時間
	1,2	復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1 時間
	講義内容	研究の実践とディスカッション(ステップ 7)		
25	該当する到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1 時間
	1,2	復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1 時間
	講義内容	研究論文の作成(ステップ 1)		
26	該当する到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1 時間
	1,2	復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1 時間
	講義内容	研究論文の作成(ステップ 2)		
27	該当する到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1 時間
	1,2	復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1 時間
	講義内容	研究論文の作成(ステップ 3)		
28	該当する到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1 時間
	1,2	復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1 時間
	講義内容	研究論文の投稿		
29	該当する到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1 時間
	1,2	復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1 時間
	講義内容	最終報告とまとめ		
30	該当する到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1 時間
	1,2	復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1 時間
備考	<p>オフィスアワー: 金曜日の 5 時限</p> <p>本講座は、各自の能動的学習に基づいて進められる。予習・復習も各自積極的に行い、疑問点や課題点を見つけるようにする。予習・復習時間は、総合討論前後の学習や研究発表・論文作成に関わる自習で補完する。食と健康・疾病との関わりにおける解決すべき問題点の抽出とその解決法について、絶えず注目して日常生活を送る。</p> <p>研究室: 1 号館 4 階 403 研究室</p>			

科目名	<b>スポーツ栄養学研究</b>		
英文名	<b>Clinical Sports Nutrition</b>		
担当教員	木村 典代		
時期・単位	食品栄養学専攻博士後期課程 1年 通年 選択 4単位		
講義目標	<p>1.運動中の競技力・コンディションに影響を及ぼす栄養素等摂取の方法や栄養管理方法の生理学的探求ができる。</p> <p>2.身体活動中の心理状態は食と大きく関与することから、食とスポーツ心理と身体的変化の探求ができる。</p> <p>3.ライフステージ×競技特性に応じたスポーツ栄養マネジメントの構築など、食とスポーツに関わる様々な事象を多角的に追求できる。</p> <p>4.1～3に関する知識を身につけ、それを応用したスポーツ栄養マネジメントができる。</p>		
到達目標	<p>1.競技スポーツと栄養に関わる様々な事象について、科学的根拠に基づき情報判断できる。</p> <p>2.食とスポーツ心理に関わる身体的な変化について考察することができる。</p> <p>3.ライフステージに応じたスポーツ栄養マネジメントを理解できる。</p> <p>4.健康面から食と運動との関係を説明することができる。</p>		
学位授与方針との対応	✓	健康増進と生活習慣病の予防に貢献する研究や新規食品の開発研究を自立して行うための豊かな見識と専門的知識・技能を身につけている。	
		独自の研究計画を立案して、それを実行することにより、研究成果を得る能力を身につけている。	
		研究の成果を適切に取りまとめ、専門学会で口頭発表するとともに、原著論文を作成して専門学術誌に発表する能力を身につけている。	
		研究成果を地域社会の健康増進と生活習慣病予防に生かすための実践的応用能力を身につけている。	
		食品栄養分野の専門職として高い倫理性と強固な責任感をもって、自らの研究を遂行する能力をもつ。	
評価方法	提出物、討論、プレゼンテーション等を通して、到達目標の達成度総合的に勘案し評価する。		
課題に対するフィードバック	授業時のコメントを通じてフィードバックを行う。		
使用教材	特に指定はしない。授業中に参考文献・参考図書を適宜紹介する。		
1	講義内容	イントロダクション 授業概要と授業目的	
	該当する到達目標	予習	スポーツ栄養マネジメントについて調べてくる 1.5時間
	1	復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること 1.5時間
2	講義内容	運動中の競技力に影響を及ぼす栄養素 補給法	
	該当する到達目標	予習	身体活動量と栄養素との関係を調べてくる 1.5時間
	1	復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること 1.5時間
3	講義内容	運動中の競技力に影響を及ぼす栄養素 管理法	
	該当する到達目標	予習	身体活動量と栄養素との関係を調べてくる 1.5時間
	1	復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること 1.5時間
4	講義内容	運動中の競技力に影響を及ぼす栄養素 ディスカッション	
	該当する到達目標	予習	身体活動量と栄養素との関係を調べてくる 1.5時間
	1	復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること 1.5時間
5	講義内容	運動中の競技力に影響を及ぼす栄養素 プレゼンテーション	
	該当する到達目標	予習	2回～4回の内容をまとめてプレゼンの準備をする 1.5時間
	1	復習	業で学んだことについてレポートを作成すること 1.5時間
6	講義内容	身体活動中の心理状態と食	
	該当する到達目標	予習	身体活動時の心理状態について調べてくる 1.5時間

	2	復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること	1.5 時間
7	講義内容	競技会時の心理状態と食		
	該当する到達目標	予習	身体活動時の心理状態について調べてくる	1.5 時間
	2	復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること	1.5 時間
8	講義内容	身体活動中の心理状態と食 ディスカッション		
	該当する到達目標	予習	身体活動時の心理状態について調べてくる	1.5 時間
	2	復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること	1.5 時間
9	講義内容	身体活動中の心理状態と食 プレゼンテーション		
	該当する到達目標	予習	6回～8回の内容をまとめてプレゼンの準備をする	1.5 時間
	2	復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること	1.5 時間
10	講義内容	ジュニア期のスポーツ栄養マネジメント 選手		
	該当する到達目標	予習	ジュニア期のスポーツ栄養マネジメントについて調べてくる	1.5 時間
	3	復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること	1.5 時間
11	講義内容	ジュニア期のスポーツ栄養マネジメント 環境		
	該当する到達目標	予習	ジュニア期のスポーツ栄養マネジメントについて調べてくる	1.5 時間
	3	復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること	1.5 時間
12	講義内容	ジュニア期のスポーツ栄養マネジメント ディスカッション		
	該当する到達目標	予習	ジュニア期のスポーツ栄養マネジメントについて調べてくる	1.5 時間
	3	復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること	1.5 時間
13	講義内容	ジュニア期のスポーツ栄養マネジメント プレゼンテーション		
	該当する到達目標	予習	10回～12回の内容をまとめてプレゼンの準備をする	1.5 時間
	3	復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること	1.5 時間
14	講義内容	思春期のスポーツ栄養マネジメント 選手		
	該当する到達目標	予習	思春期のスポーツ栄養マネジメントについて調べてくる	1.5 時間
	3	復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること	1.5 時間
15	講義内容	思春期のスポーツ栄養マネジメント 環境		
	該当する到達目標	予習	思春期のスポーツ栄養マネジメントについて調べてくる	1.5 時間
	3	復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること	1.5 時間
16	講義内容	ジュニア期のスポーツ栄養マネジメント ディスカッション		
	該当する到達目標	予習	思春期のスポーツ栄養マネジメントについて調べてくる	1.5 時間
	3	復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること	1.5 時間
17	講義内容	ジュニア期のスポーツ栄養マネジメント プレゼンテーション		
	該当する到達目標	予習	14回～16回の内容をまとめてプレゼンの準備をする	1.5 時間
	3	復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること	1.5 時間
18	講義内容	女子選手の三主徴とスポーツ栄養		
	該当する到達目標	予習	女子選手の三主徴について調べてくる	1.5 時間
	4	復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること	1.5 時間
19	講義内容	REDs とスポーツ栄養		
	該当する到達目標	予習	REDs について調べてくる	1.5 時間
	4	復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること	1.5 時間
20	講義内容	エネルギー不足とスポーツ栄養 ディスカッション		
	該当する到達目標	予習	18～19回の内容をまとめてディスカッションの準備をする	1.5 時間
	4	復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること	1.5 時間

21	講義内容	エネルギー不足とスポーツ栄養 プレゼンテーション		
	該当する到達目標	予習	18回～20回の内容をまとめてプレゼンの準備をする	1.5時間
	4	復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること	1.5時間
22	講義内容	スポーツ栄養研究におけるたんぱく質代謝に関する最近の知見		
	該当する到達目標	予習	たんぱく質代謝の最近の知見を調べる	1.5時間
	1	復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること	1.5時間
23	講義内容	スポーツ栄養研究における糖質代謝に関する最近の知見		
	該当する到達目標	予習	糖質代謝に関する最近の知見を調べる	1.5時間
	1	復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること	1.5時間
24	講義内容	スポーツ栄養研究における脂質代謝に関する最近の知見		
	該当する到達目標	予習	脂質代謝に関する最近の知見を調べる	1.5時間
	1	復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること	1.5時間
25	講義内容	スポーツ栄養研究におけるビタミン・ミネラルに関する最近の知見		
	該当する到達目標	予習	ビタミン・ミネラルと運動に関する最近の知見を調べる	1.5時間
	1	復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること	1.5時間
26	講義内容	スポーツ栄養研究における各種栄養素に関する最近の知見 ディスカッション		
	該当する到達目標	予習	22～25回の内容をまとめてディスカッションの準備を行う	1.5時間
	1	復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること	1.5時間
27	講義内容	スポーツ栄養研究における各種栄養素に関する最近の知見 プレゼンテーション		
	該当する到達目標	予習	22回～26回の内容をまとめてプレゼンの準備をする	1.5時間
	1	復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること	1.5時間
28	講義内容	スポーツ現場における食環境		
	該当する到達目標	予習	スポーツ現場における栄養学的障害について調べる	1.5時間
	4	復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること	1.5時間
29	講義内容	スポーツ現場における食環境 ディスカッション		
	該当する到達目標	予習	28回～29回の内容をまとめてプレゼンの準備をする	1.5時間
	4	復習	スポーツ現場における栄養学的障害について調べる	1.5時間
30	講義内容	2 スポーツ現場における食環境 プレゼンテーション		
	該当する到達目標	予習	28回～29回の内容をまとめてプレゼンの準備をする	1.5時間
	4	復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること	1.5時間
備考	<p>オフィスアワー：前期水曜日 5 限目、後期月曜日 5 限目</p> <p>事前にメール連絡があれば講義のある曜日の 13:00-17:00 は対応可</p> <p>オンラインで授業を実施する際の変更点：</p> <p>大学のオンラインシステムを通じて、初回授業前に実施方法を通知する</p> <p>研究室：1 号館 301 研究室                      問い合わせ先：kimura#takasaki-u.ac.jp</p>			

科目名	<b>保健情報学研究</b>		
英文名	<b>Health Informatics</b>		
担当教員	渡辺 由美		
時期・単位	食品栄養学専攻博士後期課程 1年 通年 選択 4単位		
講義目標	<p>少子・高齢社会における健康の保持増進と疾病予防を目的として、人間の健康状況と食生活・栄養、ライフスタイル、身体活動などとの関連を解析するため、地域、職域、学校等の人間集団を対象とした疫学調査、情報処理、統計解析を中心とした研究を行う。また、現在は膨大な量の健康情報が存在しているが、その中から必要な情報を集め、整理し、役立つ情報として加工し、その結果を活用できる高度な情報利用能力を持つ研究者の育成を行う。</p>		
到達目標	<p>1. 関連論文の内容を正確に理解し、評価することができる。                  2. 多変量解析などの発展的な方法を用いてデータを分析することができる。                  3. 研究結果を効果的な表現方法で説明できる。</p>		
学位授与方針との対応	✓	健康増進と生活習慣病の予防に貢献する研究や新規食品の開発研究を自立して行うための豊かな見識と専門的知識・技能を身につけている。	
	✓	独自の研究計画を立案して、それを実行することにより、研究成果を得る能力を身につけている。	
	✓	研究の成果を適切に取りまとめ、専門学会で口頭発表するとともに、原著論文を作成して専門学術誌に発表する能力を身につけている。	
	✓	研究成果を地域社会の健康増進と生活習慣病予防に生かすための実践的応用能力を身につけている。	
	✓	食品栄養分野の専門職として高い倫理性と強固な責任感をもって、自らの研究を遂行する能力をもつ。	
評価方法	教員とのディスカッション 30%、プレゼンテーション(内容 50%、質疑応答 20%)で総合的に評価する。		
課題に対するフィードバック	ディスカッション時のコメントや発表時の質疑応答を通じてフィードバックを行う。		
使用教材	別途指示する		
1	講義内容	研究テーマについて	
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容を読んで、目標などを理解する 1.5時間
	1	復習	授業内容を整理する 1.5時間
2	講義内容	関連論文の検索と収集 1	
	該当する到達目標	予習	研究テーマに関連するキーワードを調べる 2時間
	1	復習	関連する知識や情報を調べる 1時間
3	講義内容	関連論文の検索と収集 2	
	該当する到達目標	予習	収集した論文の整理 1.5時間
	1	復習	関連する知識や情報を調べる 1.5時間
4	講義内容	関連論文の検索と収集 3	
	該当する到達目標	予習	収集した論文の整理 1.5時間
	1	復習	関連する知識や情報を調べる 1.5時間
5	講義内容	関連論文の精読と討論 1	
	該当する到達目標	予習	収集した論文を読んでくる 2時間
	1	復習	関連する知識や情報を調べる 1時間
6	講義内容	関連論文の精読と討論 2	
	該当する到達目標	予習	収集した論文を読んでくる 2時間
	1	復習	関連する知識や情報を調べる 1時間
7	講義内容	関連論文の精読と討論 3	

	該当する到達目標	予習	収集した論文を読んでくる	2時間
	1	復習	関連する知識や情報を調べる	1時間
8	講義内容	関連論文の精読と討論 4		
	該当する到達目標	予習	収集した論文を読んでくる	2時間
	1	復習	関連する知識や情報を調べる	1時間
9	講義内容	関連論文の精読と討論 5		
	該当する到達目標	予習	収集した論文を読んでくる	2時間
	1	復習	関連する知識や情報を調べる	1時間
10	講義内容	関連論文の精読と討論 6		
	該当する到達目標	予習	収集した論文を読んでくる	2時間
	1	復習	関連する知識や情報を調べる	1時間
11	講義内容	関連文献の精読と討論 7		
	該当する到達目標	予習	収集した論文を読んでくる	2時間
	1	復習	関連する知識や情報を調べる	1時間
12	講義内容	関連文献の精読と討論 8		
	該当する到達目標	予習	収集した論文を読んでくる	2時間
	1	復習	関連する知識や情報を調べる	1時間
13	講義内容	先行研究のまとめ 1		
	該当する到達目標	予習	精読した論文の整理	2時間
	1	復習	討論内容の整理	1時間
14	講義内容	先行研究のまとめ 2		
	該当する到達目標	予習	精読した論文の整理	2時間
	1	復習	討論内容の整理	1時間
15	講義内容	先行研究のまとめ 3		
	該当する到達目標	予習	精読した論文の整理	2時間
	1	復習	討論内容の整理	1時間
16	講義内容	既存データ等の分析と結果の考察 1		
	該当する到達目標	予習	既存データの収集	1.5時間
	2	復習	授業内容の整理	1.5時間
17	講義内容	既存データ等の分析と結果の考察 2		
	該当する到達目標	予習	既存データの収集	1.5時間
	2	復習	授業内容の整理	1時間
18	講義内容	既存データ等の分析と結果の考察 3		
	該当する到達目標	予習	既存データの収集と整理	1.5時間
	2	復習	授業内容の整理	1.5時間
19	講義内容	既存データ等の分析と結果の考察 4		
	該当する到達目標	予習	既存データの収集と整理	1.5時間
	2	復習	授業内容の整理	1.5時間
20	講義内容	既存データ等の分析と結果の考察 5		
	該当する到達目標	予習	既存データの収集と整理	1.5時間
	2	復習	授業内容の整理	1.5時間
21	講義内容	既存データ等の分析と結果の考察 6		
	該当する到達目標	予習	既存データの収集と整理	1.5時間

	2	復習	授業内容の整理	1.5時間
22	講義内容	既存データ等の分析と結果の考察 7		
	該当する到達目標	予習	既存データの収集と整理	1.5時間
	2	復習	授業内容の整理	1.5時間
23	講義内容	既存データ等の分析と結果の考察 8		
	該当する到達目標	予習	既存データの収集と整理	1.5時間
	2	復習	授業内容の整理	1.5時間
24	講義内容	既存データ等の分析と結果の考察 9		
	該当する到達目標	予習	既存データの収集と整理	1.5時間
	2	復習	授業内容の整理	1.5時間
25	講義内容	既存データ等の分析と結果の考察 10		
	該当する到達目標	予習	既存データの収集と整理	1.5時間
	2	復習	授業内容の整理	1.5時間
26	講義内容	プレゼンテーションの準備 1		
	該当する到達目標	予習	資料作成に必要な情報の収集	2時間
	3	復習	指摘されたポイントの整理	1時間
27	講義内容	プレゼンテーションの準備 2		
	該当する到達目標	予習	資料作成に必要な情報の収集	2時間
	3	復習	指摘されたポイントの整理	1時間
28	講義内容	プレゼンテーションの準備 3		
	該当する到達目標	予習	資料作成に必要な情報の収集	2時間
	3	復習	指摘されたポイントの整理	1時間
29	講義内容	プレゼンテーションの準備 4		
	該当する到達目標	予習	資料作成に必要な情報の収集	2時間
	3	復習	指摘されたポイントの整理	1時間
30	講義内容	プレゼンテーション		
	該当する到達目標	予習	発表の準備・練習	2時間
	3	復習	討論内容の整理	1時間
備考	<p>オフィスアワー:月曜日の5時限、質問はメールでも受け付ける。</p> <p>予習・復習の不足分については、関連分野の新聞記事やニュースに関心を持ち、専門知識を自主的に調べるなどで補完する。</p> <p>研究室:1号館3階304研究室</p> <p>教員への連絡方法は授業内で指示する</p>			

科目名	<b>特殊研究(食品栄養学専攻)</b>	
英文名	<b>Seminar for Doctoral Dissertation on Food and Nutrition Sciences</b>	
担当教員	下川哲昭、岡村信一、渡辺由美、田中進、木村典代、村松芳多子、松岡寛樹、長嶺竹明、綾部園子	
時期・単位	食品栄養学専攻博士後期課程 1～3年 通年 必修 12単位	
講義目標	博士論文をまとめるにあたり、テーマの設定、研究計画の作成、研究の実施、研究成果のまとめとその評価、関連学会での口頭発表又は示説発表、関連学術雑誌への論文発表、博士論文の作成等について個別に指導する。また、それらの過程において、関連論文の精読とその内容の評価を行い、自分の研究に生かせるようにすると同時に論文作成にあたって参考文献として利用できるように指導する。	
到達目標	1.テーマに応じた研究計画を立案・実行し、博士論文を完成させる。 2.自立した研究活動が行える。	
学位授与方針との対応	✓	健康増進と生活習慣病の予防に貢献する研究や新規食品の開発研究を自立して行うための豊かな見識と専門的知識・技能を身につけている。
	✓	独自の研究計画を立案して、それを実行することにより、研究成果を得る能力を身につけている。
	✓	研究の成果を適切に取りまとめ、専門学会で口頭発表するとともに、原著論文を作成して専門学術誌に発表する能力を身につけている。
	✓	研究成果を地域社会の健康増進と生活習慣病予防に生かすための実践的応用能力を身につけている。
	✓	食品栄養分野の専門職として高い倫理性と強固な責任感をもって、自らの研究を遂行する能力をもつ。
評価方法	博士論文作成過程における研究態度、論文の完成度、審査の過程、および発表会での講演・質疑を総合的に評価する。	
課題に対するフィードバック	日常より、計画・実施・検証・改善・評価等の議論を行い支援する。	
使用教材	別途指示する。	
講義内容	第1回～第5回 研究課題の決定 第6回～第10回 研究計画の立案 第11回～第30回 本研究の前段的遂行 第31回～第35回 中間発表会の準備・発表(2年次) 第36回～第60回 本研究の遂行 第61回～第65回 中間発表会の準備・発表(3年次) 第66回～第75回 本研究の遂行 第76回～第87回 博士論文の作成 第88回～第90回 博士論文発表会の準備・発表	
	予習	研究テーマに関連した文献を出来るだけ収集し、研究論文の質を向上させる。 1時間
	復習	研究テーマについて計画・実施・検証・改善・評価等を行い、研究論文の質を向上させる。 1時間
備考	※ 平日の予習・復習時間の不足分は、土日祝日、長期休暇等に必ず補うこと。 他の院生や研究科内の教員、学内外の専門家との議論や交流を通じて、研究者としての基本を身につける。 オフィスアワー: 講義のある曜日の午後(3～5時限)	